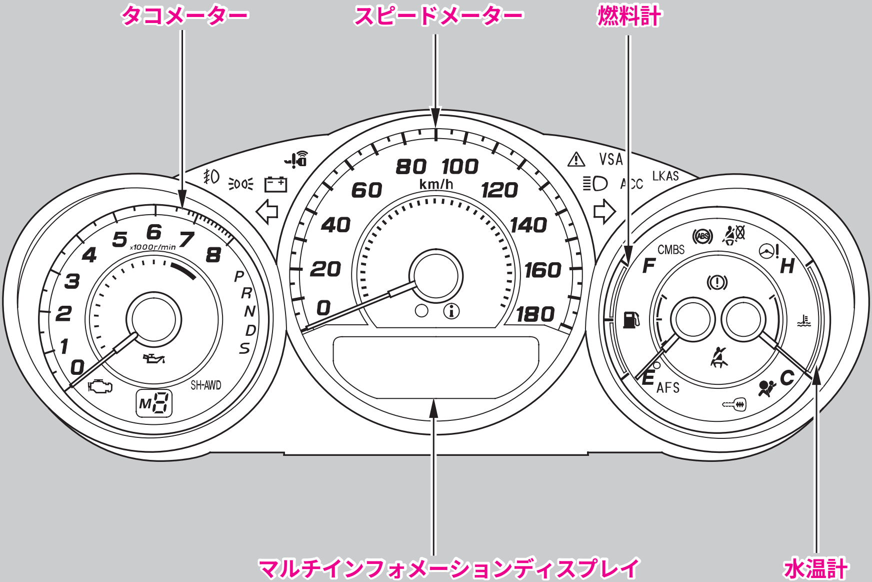
2

車を運転するときに

メーター

イラストは代表例を掲載しています。



スピードメーター

走行速度をkm/hで示します。

タコメーター

１分間あたりのエンジン回転数を示します。

アドバイス

- エンジン故障の原因となりますので、限界回転数以上（レッドゾーン）に入らないように運転してください。特に高速走行時、変速（シフトダウン）するときには注意してください。
  限界回転数 ………6,800 rpm
- 停車中の空ぶかしは、エンジン回転数が5,000rpmになると燃料供給が停止されます。

燃料計

エンジンスイッチノブが" II "のとき、燃料の残量を示します。
" E "に近づいたら早めに補給してください。

燃料補給について　→72ページ

水温計

エンジンスイッチノブが" II "のとき、エンジン冷却水の温度を示します。
走行中は" H "の目盛より下側をさすのが正常です。

アドバイス

- 針が" H "の目盛に入った場合はオーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停めてエンジンを冷やしてください。
  そのまま走行を続けるとエンジン故障の原因となります。

オーバーヒートしたとき
→374ページ

イルミネーションコントロール

＋、－スイッチを押すと、メーター表示の明るさが車幅灯点灯時と消灯時にそれぞれ別々に調節できます。

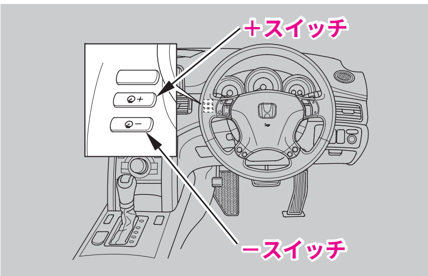
▼

エンジンスイッチノブが“ II ”のとき＋、－スイッチを押して明るさを調節します。

明るくするとき…
＋スイッチを押します。明るさが最大になると“ ピッ ”という電子音が鳴ります。

暗くするとき…
－スイッチを押します。明るさが最小になると“ ピッ ”という電子音が鳴ります。

車外の明るさに応じてお好みで調節してください。

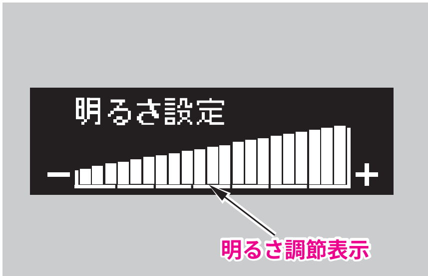


知 識

- スイッチを押し続けると、連続して明るさが変わります。

明るさ調節表示

＋、－スイッチを押して明るさを調節すると、マルチインフォメーションディスプレイが明るさ調節表示に切り換わります。▁▂▃▄が右に増えて行くほどメーターが明るく表示されます。



知 識

- マルチインフォメーションディスプレイに警告表示が出ているときは明るさ調節表示は表示されません。通常表示に戻ってから、明るさを調節してください。

警告表示について →131ページ

知　識

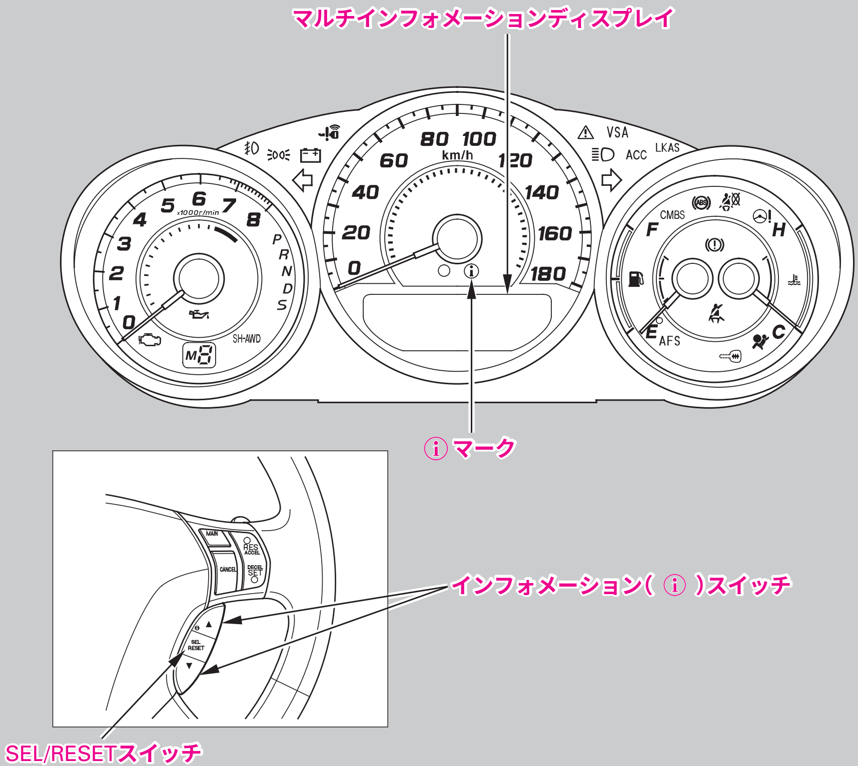
- 次の動作をしたときは、元の表示に切り換わります。
  - 調節後約５秒すぎたとき。
  - インフォメーション(ⓘ)スイッチを押したとき
- 車幅灯が点灯しているときは、車外の明るさに合わせてメーターの明るさが自動で切り換わります。外が明るいときは昼間(車幅灯消灯時)の明るさに、外が暗いときは夜間(車幅灯点灯時)の減光した明るさになります。
- 車幅灯が点灯し、メーターの明るさが減光されたときに、が右にいっぱい(明るさ最大)になるまで＋スイッチを押し、再度＋スイッチを押すと、メーターの明るさの減光を手動で解除することができます。このとき"ピッ"という電子音が鳴ります。
  メーターの明るさを元に戻すときは、－スイッチを押してください。このときにも"ピッ"という電子音が鳴ります。

知　識

- 運転席ドアを開けると、メーターが減光した状態で点灯します。
  (ウェルカムメーター照明)
- 次のようなとき、メーターの照明は消灯します。
  - 運転席ドアを開けてから、何もせずに約３分経過したとき。
  - 運転席ドアを閉めてから、何もせずに約30秒経過したとき。
  - エンジンスイッチノブを"Ⅱ"から"Ⅰ"または"０"(プッシュオン)に回してから約10秒経過したとき
  - 内蔵キーでエンジンスイッチを"Ⅱ"から"Ⅰ"または"０"に回してから約10秒経過したとき

マルチインフォメーションディスプレイ

イラストは代表例を掲載しています。



知　識

- 運転席ドアを開けるとメーターの目盛りが点灯し、マルチインフォメーションディスプレイに“ Welcome ”のメッセージが表示されます。（ウェルカムメーター照明）
- エンジンスイッチノブを“ II ”にすると、マルチインフォメーションディスプレイに、解錠時に識別されたドライバー１（“ DRIVER1 ”）またはドライバー２（“ DRIVER2 ”）が表示されます。
- エンジンスイッチノブを“ II ”から“ 0 ”にすると、マルチインフォメーションディスプレイに“ Good bye ”が表示されます。

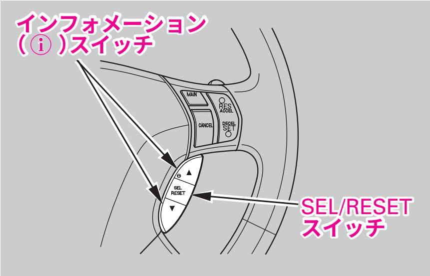
表示について

異常を検知すると、警告表示が割り込み表示され、約５秒後に通常表示に戻ります。また、ディスプレイの上部に ⓘ マークが点灯します。

警告表示について →131ページ

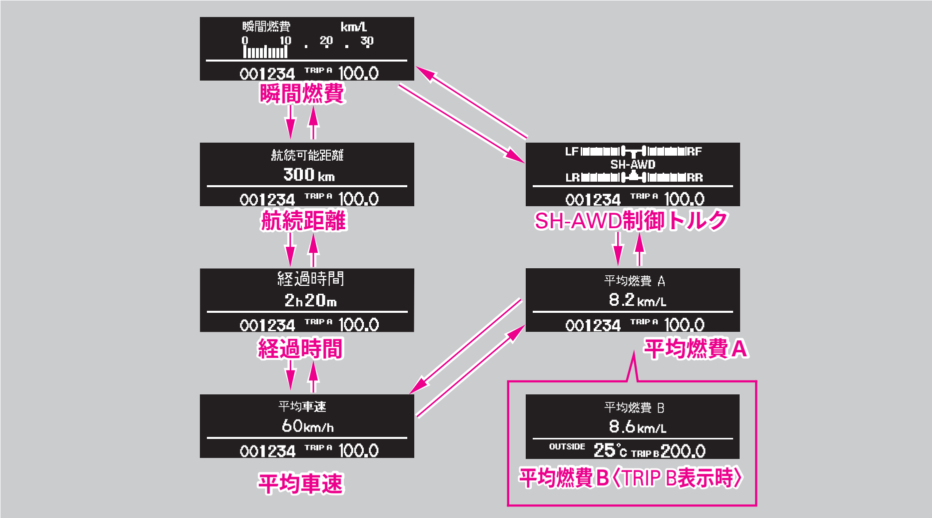
表示の切り換え

インフォメーション(ⓘ)スイッチまたはSEL/RESETスイッチを押すごとに、マルチインフォメーションディスプレイの画面表示が切り換わります。



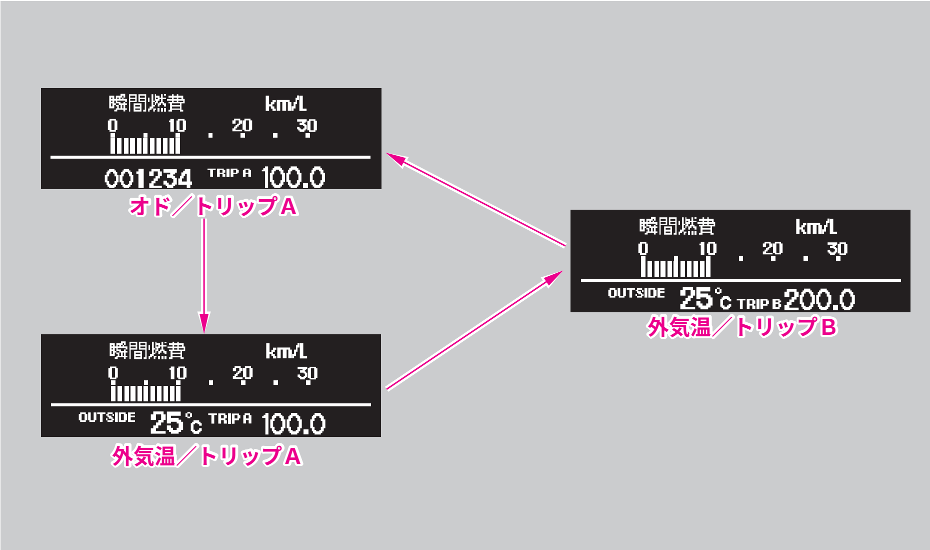
・インフォメーション(ⓘ)スイッチ

スイッチを押すごとに画面表示が次のように切り換わります。
“ 平均燃費Ｂ ”を表示させるには、SEL/RESETスイッチで“ TRIP B ”を表示させてください。



・SEL/RESET**スイッチ**

スイッチを押すごとに画面表示が次のように切り換わります。
“ TRIP A ”または“ TRIP B ”を表示中にSEL/RESETスイッチを約２秒以上押し続けると、トリップメーターとそれぞれの平均燃費がリセットされます。



●瞬間燃費表示

エンジンスイッチノブが“ II ”のとき、瞬間燃費をバーグラフにkm/Lで表示します。

●航続距離表示

燃料残量と平均燃費をもとに推定航続可能距離をkmで表示します。

知　識

- 表示される航続距離は実際に航続可能な距離とは異なる場合があります。

●経過時間表示

エンジンを始動してから停止するまでの時間を表示します。

知　識

- エンジンを停止すると経過時間表示はリセットされます。

知　識

- 経過時間表示のリセット条件を“ TRIP A ”、“ TRIP B ”に変更することができます。

カスタマイズ機能　→330ページ

“ TRIP A ”または“ TRIP B ”設定時

- “ TRIP A ”または“ TRIP B ”でSEL/RESETスイッチを操作してリセットするまでの経過時間を表示します。
- エンジン停止中は計算されません。

トリップメーターのリセット
→126ページ

- 経過時間表示はリセット条件の設定を変更したときにはリセットされません。
  そのときの経過時間は設定された条件でリセットが行われるまで引き続き計算されます。
- 経過時間表示は99時間59分まで表示できます。

●平均車速表示

“ TRIP A ”をリセットしてからの平均車速をkm/hで表示します。

知　識

- エンジン停止中は計算されていません。

●平均燃費表示

トリップメーター（“TRIP A”、“TRIP B”）と連動し、それぞれの平均燃費を約10秒間ごとに更新して、km/Lで表示します。

リセット

“TRIP A”または“TRIP B”がリセットされると、それぞれの平均燃費もリセットされます。

トリップメーター　→129ページ

知　識

- 停車時または低速走行中にリセットしたときは、走行を始めてから燃費の計算を開始します。
- 表示される平均燃費は実際に走行した燃費と異なる場合があります。
- “TRIP A”、“平均燃費A”を給油と連動させて、給油時に自動的にリセットさせることができます。

カスタマイズ機能　→330ページ

“TRIP A”、“平均燃費A”給油連動時

“TRIP A”、“平均燃費A”は給油と連動して自動的にリセットされます。給油量が少ないと、自動的にリセットされないことがあります。

●SH-AWD制御トルク表示

四輪の駆動力を表示します。

イラストは表示例です



バーグラフの目盛りが外側に増えるほど駆動力が大きくなります。

SH-AWDシステム　→214ページ

●オドメーター

走行距離の累計をkmで示します。

●トリップメーター

リセットしてからの走行距離をkmで示します。“ TRIP A ”と“ TRIP B ”でそれぞれ別の走行距離を知ることができます。

表示の切り換え　→125ページ

知　識

- 走行距離が999.9kmを超えると0kmに戻ります。
- “ TRIP A ”を給油と連動させて、給油時に自動的にリセットさせることができます。

カスタマイズ機能　→330ページ

“ TRIP A ”給油連動時

“ TRIP A ”は給油と連動して自動的にリセットされます。給油量が少ないと、自動的にリセットされないことがあります。

知　識

- “ TRIP A ”または“ TRIP B ”をリセットすると、それぞれの平均燃費もリセットされます。

平均燃費表示　→128ページ

- “ TRIP A ”をリセットすると平均車速もリセットされます。
- “ TRIP A ”または“ TRIP B ”のリセットと連動させて、経過時間表示をリセットさせることができます。

カスタマイズ機能　→330ページ

●外気温表示

外気温を測定し表示します。
外気温が下がってきて３°C以下になったとき、マルチインフォメーションディスプレイに割り込み表示します。

警告表示について　→131ページ



知　識

- フロントバンパー付近の外気温を測定しているため、エンジンルームや路面の熱の影響を受けやすい停車中や渋滞中など（車速約30 km/h以下）は正しい外気温を表示しないことがあります。
- マルチインフォメーションディスプレイの割り込み表示は、エンジンスイッチノブを“ II ”にしてから最初に３°C以下に下がったときにのみ作動します。

外気温補正の設定

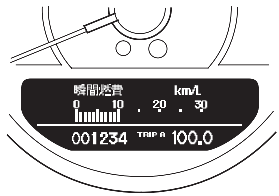
マルチインフォメーションディスプレイを使って、外気温表示の表示温度に補正をかけることができます。＋３°Cから－３°Cの間で設定できます。

カスタマイズ機能　→330ページ

警告表示について

異常を検知すると、マルチインフォメーションディスプレイに警告表示が割り込まれます。このとき同時に警告音も鳴ります。

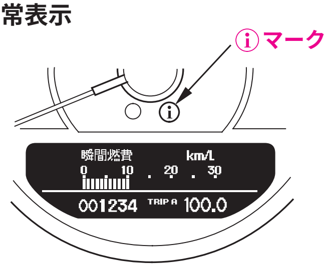
通常表示



割り込み表示



通常表示



警告表示がマルチインフォメーションディスプレイに表示されたときは、表示灯、警告灯の該当ページを参照して、必要な処置を行ってください。

ⓘ マークが点灯しているときにインフォメーション(ⓘ)スイッチを押すと、警告表示を再表示させることができます。

知　識

- 警告音の音量を変えることができます。
  カスタマイズ機能　→330ページ

●表示一覧

マルチインフォメーションディスプレイに表示される警告表示の一覧です。
表示灯、警告灯の該当ページを参照して、必要な処置を行ってください。

表示について

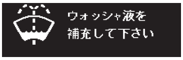
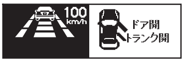
表示①は、車の異常を検知すると表示されます。MAINスイッチが“ ON ”のときはACC／LKAS作動時の表示になります。
また、通常表示に戻ったあとも、インフォメーション(ⓘ)スイッチを押すと表示されます。表示②は停車中に、表示①を表示したあとに表示されます。

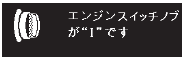
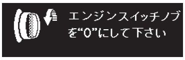
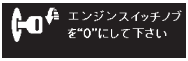
表示 ①	ACC/LKAS作動時	表示 ②	処置(参照先)
ブレーキ液量低下	100 km/h ブレーキ液量低下	―	ブレーキ警告灯 →149ページ
ブレーキシステム点検	100 km/h ブレーキシステム点検	急ブレーキを避けて下さい	
パーキングブレーキを解除して下さい	100 km/h パーキングブレーキを解除して下さい	―	
エンジン油圧異常	100 km/h エンジン油圧異常	エンジンオイルを点検して下さい	油圧警告灯 →150ページ
エンジンシステム点検	100 km/h エンジンシステム点検	高速での走行を避けて下さい	PGM-FI警告灯 →150ページ
充電システム点検	100 km/h 充電システム点検	充電ができません	充電警告灯 →151ページ
トランスミッション点検	100 km/h トランスミッション点検	急発進、急加速を避けて下さい	トランスミッション警告灯 →151ページ

表示 ①	ACC/LKAS作動時	表示 ②	処置（参照先）
シートベルトを着用して下さい	100 km/h シートベルトを着用して下さい	—	シートベルト非着用警告灯 →151ページ
給油して下さい	100 km/h 給油して下さい	—	燃料残量警告灯 →152ページ
燃料センサ点検	100 km/h 燃料センサ点検		
Honda スマートキーシステム点検	100 km/h Honda スマートキー点検	—	Hondaスマートキーシステム警告灯 →152ページ
キー電池残量低下	100 km/h キー電池残量低下	キーの電池を交換して下さい	Hondaスマートキー電池消耗警告 →167ページ
キーが見つかりません	100 km/h キーが見つかりません	キーの位置を確認して下さい	Hondaスマートキー持ち去り警告 →165ページ
ACC ACCシステム点検	ACC ACCシステム点検	—	アダプティブクルーズコントロール（ACC）警告灯 →153ページ
LKAS LKASシステム点検	100 km/h LKAS LKASシステム点検	—	レーンキープアシストシステム（LKAS）警告灯 →153ページ

表示 ①	ACC/LKAS作動時	表示 ②	処置（参照先）
助手席 サイドエアバッグ 停止中	100 km/h 助手席 サイドエアバッグ 停止中	正しい乗車姿勢を 取って下さい	サイドエアバッグ自動停止表示灯 →142ページ
エアバッグシステム 点検	100 km/h エアバッグ システム点検	—	SRSエアバッグシステム警告灯 →154ページ
(ABS) アンチロック ブレーキ点検	100 km/h (ABS) アンチロック ブレーキ点検	—	アンチロックブレーキシステム（ABS）警告灯 →153ページ
VSA VSAシステム 点検	100 km/h VSA VSA システム点検	—	ビークルスタビリティアシスト（VSA：車両挙動安定化制御システム）警告灯 →154ページ
CMBS CMBSシステム 点検	100 km/h CMBS CMBS システム点検	—	追突軽減ブレーキ（CMBS）警告灯 →155ページ
CMBS レーダー汚れ	100 km/h CMBS レーダー汚れ	CMBS レーダーを 拭いて下さい	追突軽減ブレーキ（CMBS）レーダー汚れ表示 →262ページ
AFS AFSシステム 点検	100 km/h AFS AFS システム点検	—	アダプティブフロントライティングシステム（AFS）警告灯 →155ページ
LIGHT CONTROL オートライト システム点検	100 km/h LIGHT CONTROL オート ライトシステム 点検	—	オートライトコントロール →172ページ

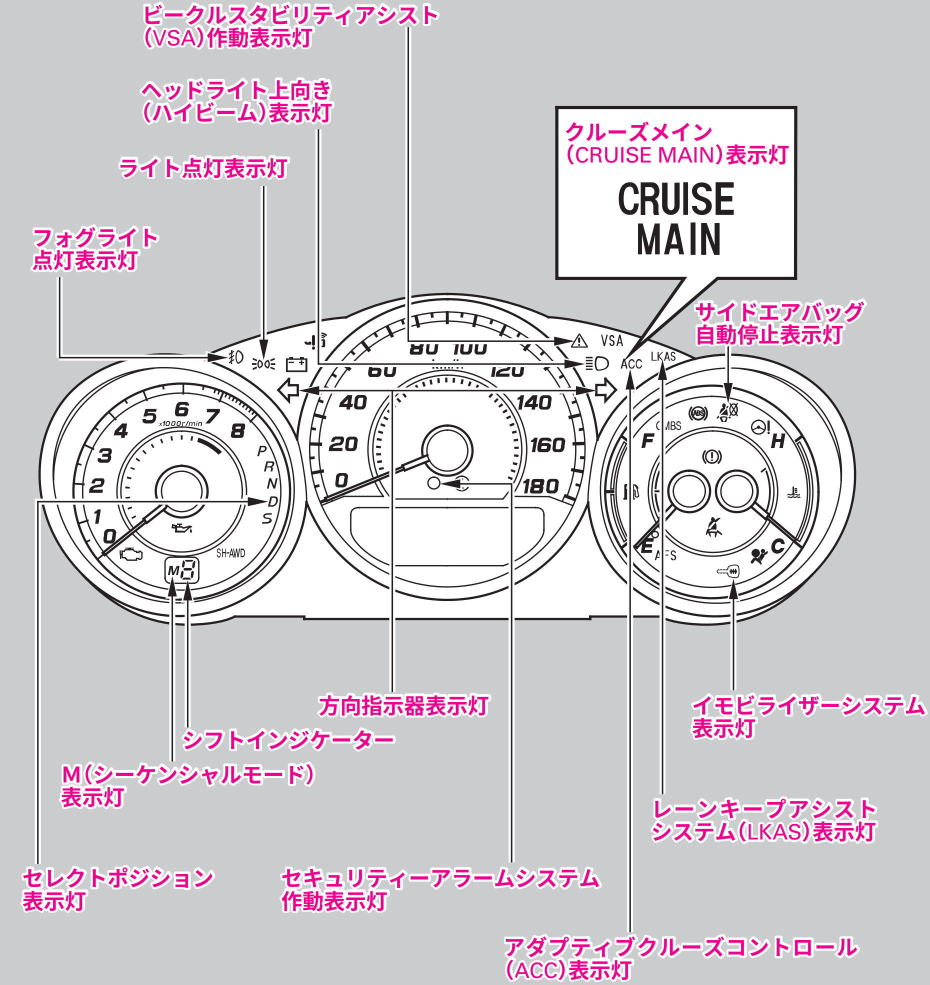
表示 ①		表示 ②	処置(参照先)
	ACC/LKAS作動時		
パワーステアリングシステム点検	100 km/h パワーステアリング点検	―	エレクトリックパワーステアリング(EPS)警告灯／パワーステアリング(ECPS)警告灯 →156ページ
SH-AWD SH-AWDシステム点検	100 km/h SH-AWD SH-AWDシステム点検	―	SH-AWD(スーパーハンドリングオールホイールドライブシステム)警告灯 →157ページ
SH-AWD SH-AWDデフ高温	100 km/h SH-AWD SH-AWDデフ高温		
スターティングシステム点検	100 km/h スターティングシステム点検	―	エンジンのかけかた →188ページ
ラジエーターシステム点検	100 km/h ラジエーターシステム点検	―	エンジンの冷却システムに異常があります。すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
ポップアップフードシステム点検	100 km/h ポップアップフードシステム点検	―	ポップアップフードシステム警告表示 →272ページ
NIGHT VISION ナイトビジョンシステム点検	100 km/h NIGHT VISION ナイトビジョンシステム点検	―	別冊のインテリジェント・ナイトビジョンシステム取扱説明書をご覧ください。

表示 ①	ACC/LKAS 作動時	表示 ②	処置（参照先）
		ー	ウォッシャー液を補給してください。
		ー	外気温低下表示 →130ページ
		ー	パワートランク警告表示 →67ページ
		ー	ドアやトランクが閉まっていないときに表示されます。 ドアやトランクを完全に閉めてください。

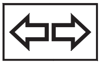
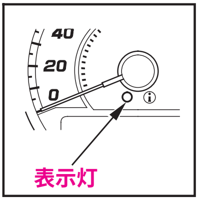
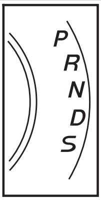
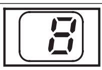
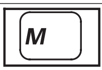
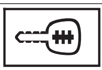
表示 ①	表示 ① ACC/LKAS作動時	表示 ②	処置（参照先）
 	―	―	エンジンスイッチノブ 警告ブザー →164ページ
  	―	―	内蔵キー抜き忘れ 警告ブザー →171ページ
	―	―	ライト消し忘れ 警告ブザー →173ページ

表示灯

イラストは代表例を掲載しています。



表示灯はタイプ等により、装備の有無があります。下表の装備一覧をご覧ください。

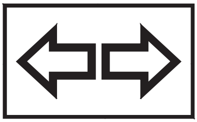
表示灯		タイプ				
		LEGEND	L	I	EURO S	EURO L
	方向指示器表示灯	○	○	○	○	○
	ヘッドライト上向き（ハイビーム）表示灯	○	○	○	○	○
	ライト点灯表示灯	○	○	○	○	○
	フォグライト点灯表示灯	○	○	○	○	○
	セキュリティーアラームシステム作動表示灯	○	○	○	○	○
	セレクトポジション表示灯	○	○	○	○	○
	シフトインジケーター	○	○	○	○	○
	M（シーケンシャルモード）表示灯	○	○	○	○	○
	サイドエアバッグ自動停止表示灯	○	○	○	○	○
	イモビライザーシステム表示灯	○	○	○	○	○

○：標準装備

表示灯はタイプ等により、装備の有無があります。下表の装備一覧をご覧ください。

表示灯		タイプ				
		LEGEND	L	I	EURO S	EURO L
CRUISE MAIN	クルーズメイン（CRUISE MAIN）表示灯	○	○	–	○	○
ACC	アダプティブクルーズコントロール（ACC）表示灯（緑色）	–	–	○	–	–
LKAS	レーンキープアシストシステム（LKAS）表示灯（緑色）	–	–	○	–	–
	ビークルスタビリティアシスト（VSA）作動表示灯	○	○	○	○	○

○：標準装備



方向指示器表示灯

方向指示器のランプの点滅状態を表示します。

知　識

- 電球が切れたときや、ワット(W)数の違った物を使ったときは、表示灯の点滅周期が異常になります。

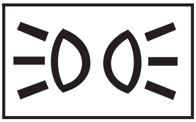
電球(バルブ)の交換 →393、395ページ

電球(バルブ)のワット数 →446ページ



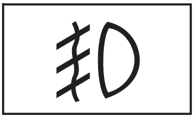
ヘッドライト上向き(ハイビーム)表示灯

ヘッドライトが上向きのときに点灯します。



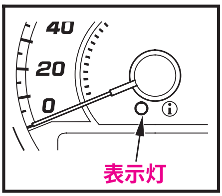
ライト点灯表示灯

ライトスイッチが“ OFF ”以外のとき(ただし、“ AUTO ”のときは車幅灯やヘッドライトが点灯しているときのみ)点灯します。



フォグライト点灯表示灯

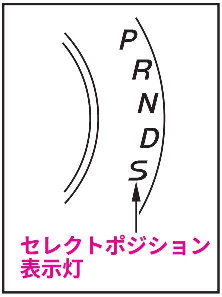
フォグライトスイッチが“ ON ”で、ライトスイッチが“ OFF ”以外のとき(ただし“ AUTO ”のときは車幅灯やヘッドライトが点灯しているときのみ)点灯します。



セキュリティーアラームシステム作動表示灯

セキュリティーアラームシステムがセットされているときに点滅します。

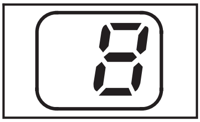
セキュリティーアラームシステムについて →85ページ



セレクトポジション表示灯（トランスミッション警告灯兼用）

使用中のセレクトレバー位置が表示されます。
トランスミッションが異常のときには、Ⓓが点滅します。

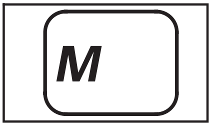
トランスミッション警告灯　→151ページ



シフトインジケーター

シーケンシャルモード時はギヤの位置が表示されます。

シーケンシャルモード　→197ページ



M（シーケンシャルモード）表示灯

セレクトレバーがⓈでシーケンシャルモードのときに点灯します。

シーケンシャルモード　→197ページ



サイドエアバッグ自動停止表示灯

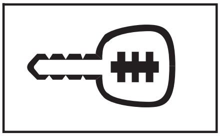
乗員姿勢検知システムにより、助手席用サイドエアバッグの作動を自動停止しているときに点灯します。
また、マルチインフォメーションディスプレイに“助手席サイドエアバッグ停止中”“正しい乗車姿勢を取って下さい”が表示されます。

▼

点灯したときは

上体を起こして座ってください。また、小さなお子さまの場合は、後席に乗せてください。

乗員姿勢検知システム　→237ページ



イモビライザーシステム表示灯

エンジンスイッチノブを“ II ”にすると、数秒間点灯してから消灯します。点灯中は車両とキーとの電子照合を行っています。

点滅したときは

エンジンを始動することはできません。

- Hondaスマートキーを使っているときは、エンジンスイッチノブを“ 0 ”(プッシュオフ)にしてから、もう一度エンジンスイッチノブを押し込んで、エンジンスイッチノブを“ II ”にしてください。
- 内蔵キーを使っているときは、エンジンスイッチを“ 0 ”へ回しキーを抜いてから、もう一度エンジンスイッチに差し込み“ II ”にしてください。

エンジンスイッチノブを次のようにしたときも、数回点滅します。

- Hondaスマートキーを使ってエンジンスイッチノブを“ II ”から“ 0 ”(プッシュオフ)にしたとき
- 内蔵キーを使ってエンジンスイッチを“ II ”から“ I ”または“ 0 ”にしたとき

イモビライザーシステムについて →84ページ

アドバイス

- エンジンスイッチノブを“ II ”にしても表示灯が点灯しないときや、頻繁に表示灯の点滅を繰り返す場合は、システムの異常が考えられますので、Honda販売店で点検を受けてください。

CRUISE
MAIN

クルーズメイン（CRUISE MAIN）表示灯

ACC/LKAS非装備車

CRUISEスイッチを押して“ ON ”にすると点灯します。

クルーズコントロール　→209ページ

ACC

アダプティブクルーズコントロール（ACC）表示灯（アダプティブクルーズコントロール（ACC）警告灯兼用）

ACC/LKAS装備車

MAINスイッチを押して、“ ON ”にすると緑色で点灯します。

詳細については、別冊のACC／LKAS取扱説明書をご覧ください。

LKAS

レーンキープアシストシステム（LKAS）表示灯（レーンキープアシストシステム（LKAS）警告灯兼用）

ACC/LKAS装備車

MAINスイッチを押して、“ ON ”にすると緑色で点灯します。

詳細については、別冊のACC／LKAS取扱説明書をご覧ください。



ビークルスタビリティアシスト（VSA：車両挙動安定化制御システム）作動表示灯

VSAが作動中に点滅します。
VSAを“OFF”にしたときと、VSAに異常があるときに点灯します。

→250ページ

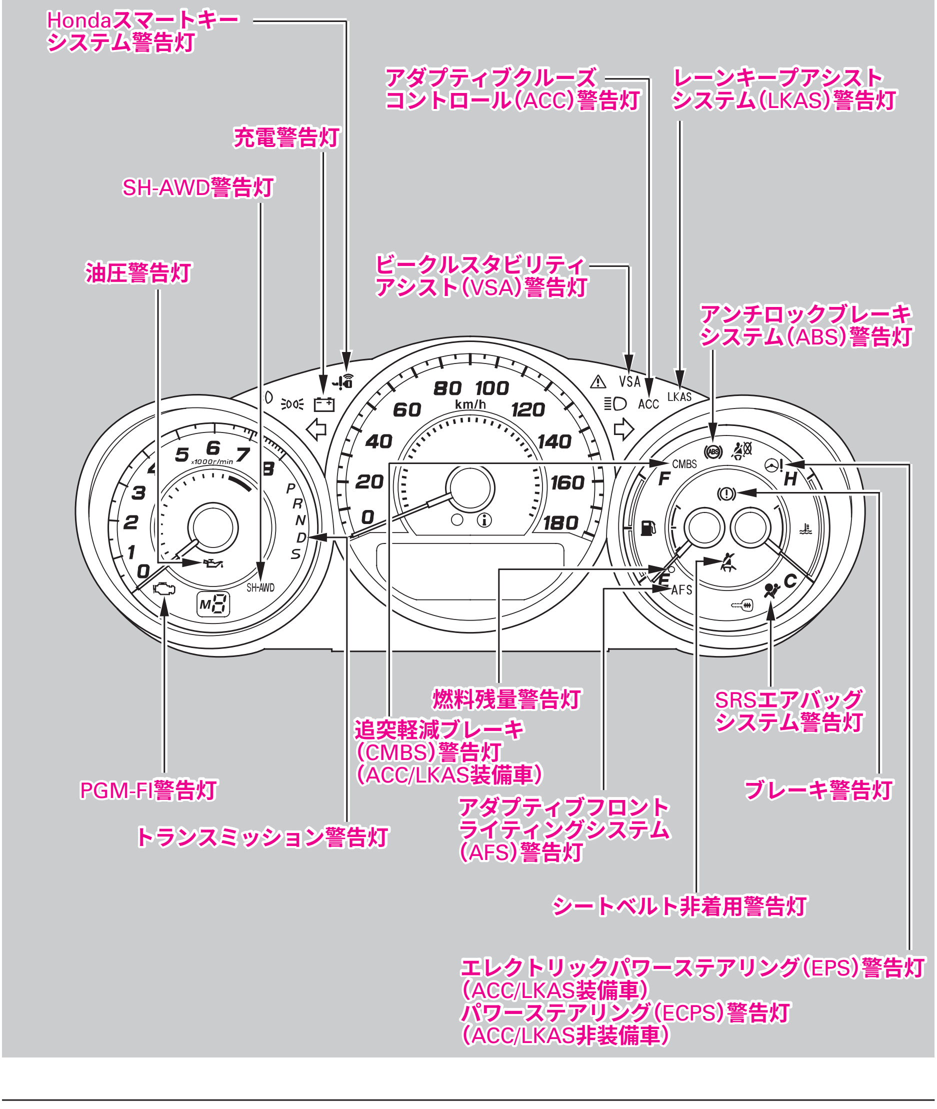
知　識

- VSA警告灯が点灯するとVSA作動表示灯も同時に点灯します。

VSA警告灯　→154ページ

警告灯

イラストは代表例を掲載しています。



警告灯はタイプ等により、装備の有無があります。下表の装備一覧をご覧ください。

警告灯	タイプ				
	LEGEND	L	I	EURO S	EURO L
ブレーキ警告灯	○	○	○	○	○
油圧警告灯	○	○	○	○	○
PGM-FI 警告灯	○	○	○	○	○
充電警告灯	○	○	○	○	○
トランスミッション警告灯（セレクトポジション表示灯兼用）	○	○	○	○	○
シートベルト非着用警告灯	○	○	○	○	○
 燃料残量警告灯	○	○	○	○	○
Hondaスマートキーシステム警告灯	○	○	○	○	○
アダプティブクルーズコントロール（ACC）警告灯（橙色）	–	–	○	–	–

○：標準装備

警告灯はタイプ等により、装備の有無があります。下表の装備一覧をご覧ください。

警告灯		タイプ				
		LEGEND	L	I	EURO S	EURO L
LKAS	レーンキープアシストシステム（LKAS）警告灯（橙色）	—	—	○	—	—
ABS	アンチロックブレーキシステム（ABS）警告灯	○	○	○	○	○
	SRSエアバッグシステム警告灯	○	○	○	○	○
VSA	ビークルスタビリティアシスト（VSA）警告灯	○	○	○	○	○
CMBS	追突軽減ブレーキ（CMBS）警告灯	—	—	○	—	—
AFS	アダプティブフロントライティングシステム（AFS）警告灯	○	○	○	○	○
!	エレクトリックパワーステアリング（EPS）警告灯／パワーステアリング（ECPS）警告灯	○	○	○	○	○
SH-AWD	SH-AWD（スーパーハンドリングオールホイールドライブシステム）警告灯	○	○	○	○	○

○：標準装備



ブレーキ警告灯

パーキングブレーキが完全に解除されていないときに点灯します。この状態で走行するとブザーが鳴ります。

パーキングブレーキ戻し忘れ警告 →192ページ

ブレーキ液量がいちじるしく減少しているときにも点灯します。また、ABSが異常のときABS警告灯と同時に点灯することがあります。
また、マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

▼

点灯したときは

走行中点灯したときやパーキングブレーキを解除しても消灯しないときは、

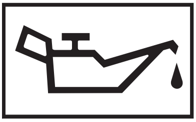
①ブレーキ液量を点検します。

②下限より下がっていたらただちにHonda販売店へご連絡ください。
ブレーキ液量が下限以下になっていないのに点灯するときや、パーキングブレーキをかけても点灯しないときは、お早めにHonda販売店で点検を受けてください。

ABS警告灯と同時に点灯したときは

ブレーキ液量が正常で、アンチロックブレーキシステム(ABS)警告灯と同時に点灯したときは、アンチロックブレーキシステム(ABS)の異常が考えられます。
高速走行や急ブレーキを避けて、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

アンチロックブレーキシステム(ABS)警告灯 →249ページ



油圧警告灯

エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。
マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

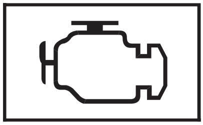
▼

点灯したときは

エンジン回転中に点灯した場合は、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、エンジンオイル量を点検してください。
エンジンオイルが減っていないのに点灯しているときや、エンジンオイルを補給しても点灯するときは、ただちにHonda販売店へご連絡ください。

アドバイス

- 点灯したまま走行しないでください。エンジンが破損するおそれがあります。



PGM-FI警告灯

エンジン制御システムが異常のときに点灯します。
エンジン各気筒の失火状態を検知したときに点滅します。
マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

▼

点灯したときは

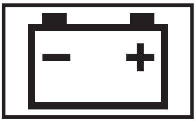
運転中に点灯した場合は、高速走行を避けて、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

点滅したときは

①走行中に点滅した場合は、枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10分間以上エンジンを止めて、冷えるまでお待ちください。
②エンジン再始動後、警告灯が消灯しないときや再び点滅するときは、触媒装置保護のため、急加速、急減速などの無理な運転を避け、50km/h以下の速度で、最寄りのHonda販売店まで走行し点検を受けてください。

アドバイス

- 警告灯が点滅した状態で運転は続けないでください。
  触媒装置を焼損することがあります。



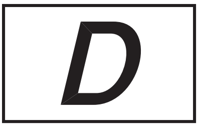
充電警告灯

充電系統が異常のときに点灯します。
マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

▼

点灯したときは

運転中に点灯した場合は、電気の消費を減らすため、エアコンスイッチ、リヤデフロスタースイッチを“OFF”にして、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。



トランスミッション警告灯（セレクトポジション表示灯兼用）

トランスミッションが異常のときに点滅します。
マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

▼

点滅したときは

運転中に点滅した場合は、急発進、急加速を避けて、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。



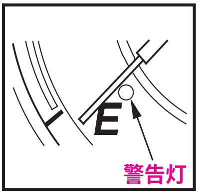
シートベルト非着用警告灯

エンジンスイッチノブを“II”にすると、運転席シートベルトを着用するまでシートベルトリマインダー（非着用警報装置）が作動し、点灯し続けます。
また、エンジンスイッチノブを“II”にしたときや走行したときは、運転席シートベルトを着用するまで、数秒間ブザーが鳴ります。
（ブザーが鳴っている間は、警告灯が点滅します。）
マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

知　識

- 運転席シートベルトを着用していない場合でも、停車すると、ブザーは止まります。また、走行しているときでも一定回数を超えると、ブザーは止まります。
- セレクトレバーをⓇに入れたときは、後退位置警報装置のチャイムが鳴り、シートベルト非着用警告ブザーは鳴りません。
- シートベルト非着用警告ブザーの音量を変えることができます。

カスタマイズ機能　→330ページ



燃料残量警告灯

燃料タンク内のガソリン残量が10ℓ前後になったときに点灯します。
マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

燃料の補給　→72ページ

燃料計に異常があるときに点滅します。
マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。
ガソリンの量を正しく表示できませんので、走行距離に注意して、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。



Hondaスマートキーシステム警告灯

Hondaスマートキーシステムが異常のときに点灯します。
マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。

- 運転中に点灯したとき。
- エンジンスイッチノブを“ II ”にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないとき
- エンジンスイッチノブが“ 0 ”のときに数秒間点灯したとき

アドバイス

- 警告灯が点灯した場合は、Hondaスマートキーを使わずに、内蔵キーを使ってください。

内蔵キー　→45ページ



アダプティブクルーズコントロール(ACC)警告灯(アダプティブクルーズコントロール(ACC)表示灯兼用)

ACC/LKAS装備車

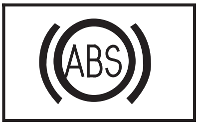
ACCが異常のとき橙色で点灯します。
マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。
詳細については、別冊のACC／LKAS取扱説明書をご覧ください。



レーンキープアシストシステム(LKAS)警告灯(レーンキープアシストシステム(LKAS)表示灯兼用)

ACC/LKAS装備車

LKASが異常のとき橙色で点灯します。
マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。
詳細については、別冊のACC／LKAS取扱説明書をご覧ください。



アンチロックブレーキシステム(ABS)警告灯

ABSが異常のときに点灯します。
マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

→249ページ



SRSエアバッグシステム警告灯（エアバッグシステムとシートベルトシステム警告灯兼用）

次のシステムの異常を検出すると点灯します。
マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

SRS エアバッグシステム　→220ページ
サイドエアバッグシステム／サイドカーテンエアバッグシステム　→228ページ
シートベルトプリテンショナー　→244ページ
E-プリテンショナー　→246ページ

VSA

ビークルスタビリティアシスト（VSA：車両挙動安定化制御システム）警告灯

VSAが異常のときに点灯します。
マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

→253ページ

知　識

- ABS警告灯が点灯するとVSA警告灯も同時に点灯します。
- ブレーキアシストの装置に異常があるとVSA警告灯が点灯します。
- VSA警告灯が点灯したときはブレーキアシストは作動しません。

CMBS

追突軽減ブレーキ(CMBS)警告灯

ACC/LKAS装備車

追突軽減ブレーキ(CMBS)が異常のとき、または"OFF"のときに点灯します。
マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。
エンブレムの汚れなどで前方の車両を検知できず、システム停止したときも点灯します。

CMBSの停止について　→260ページ
CMBSの自動停止について　→261ページ

AFS

アダプティブフロントライティングシステム(AFS)警告灯

AFSが異常のときに点滅します。
マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。
運転中にAFS警告灯が点滅したときは、安全な場所に停車しエンジンスイッチノブを"Ｉ"または"０"に回してから、エンジンを再始動してください。そのとき警告灯が消灯すれば正常です。
消灯しないときや再び点滅したときは、通常走行に支障はありませんがお早めにHonda販売店で点検を受けてください。

アダプティブフロントライティング
システム(AFS)　→174ページ

また、ヘッドライト点灯時にAFS OFFスイッチを押してAFSを作動停止状態にすると点灯します。

知　識

- ヘッドライトが点灯していないときは警告灯は消灯します。



エレクトリックパワーステアリング(EPS)警告灯

ACC/LKAS装備車

パワーステアリング(ECPS)警告灯

ACC/LKAS非装備車

EPS/ECPSが異常のときに点灯します。
マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

▼

点灯したときは

運転中に点灯したとき(安全な場所に停車してからエンジンを再始動し、その後消灯していれば正常です。)は、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。

知　識

- 警告灯が点灯しているときは、ハンドル操作が重くなる場合もあります。
- 停車中にエンジンの空ぶかしを行うと、警告灯が点灯しハンドル操作が重くなる場合があります。このときは、エンジンを再始動すると警告灯が消灯します。
- ACC/LKAS装備車
  停車中または極低速でハンドル操作をくり返したときなどシステムの温度が上昇すると、システム保護のためパワー装置のはたらきを制限するので、ハンドル操作が徐々に重くなります。
  システムの温度が下がると復帰します。
  システム保護がはたらくような使いかたを連続的にくり返すと、システム破損の原因となります。

SH-AWD

SH-AWD（スーパーハンドリングオールホイールドライブシステム）警告灯

SH-AWDシステムが動力伝達装置や機能に異常をきたすおそれがあると判断したときに点滅します。
また、SH-AWDシステムが異常のときに点灯します。
マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。

→215ページ

点滅したときは

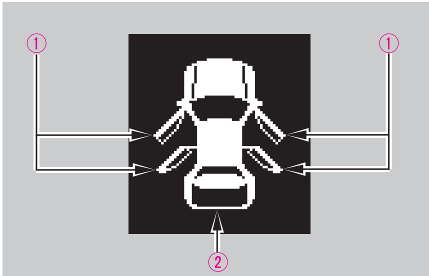
運転中に点滅した場合は、安全な場所に車を停めて、セレクトレバーを[P]の位置にして、アイドリング運転を行い、消灯するまでお待ちください。
警告灯が消灯しないときは、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

点灯したときは

運転中に点灯した場合は、前輪駆動での走行になります。急発進、急加速を避けて、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

セーフティインジケーター

マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。



①ドア開閉警告灯

ドアが完全に閉まっていないときに点灯します。

▼

ドアを完全に閉めてください。

②トランク開閉警告灯

トランクが完全に閉まっていないときに点灯します。

▼

トランクを完全に閉めてください。

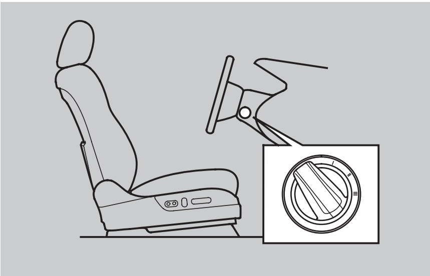
警告灯の電球切れの点検

エンジンスイッチノブを"Ⅱ"にしたとき、下記の警告灯類が点灯するのが正常です。点灯しないときは、Honda販売店にご連絡ください。

- **ブレーキ警告灯**
  (パーキングブレーキが解除されているときは数秒後消灯)
  (パーキングブレーキをかけているときは完全に解除すると消灯)
- **油圧警告灯**
  (エンジン始動後消灯)
- PGM-FI**警告灯**
  (数秒後消灯)
- **充電警告灯**
  (エンジン始動後消灯)
- **トランスミッション警告灯**
  (数秒後消灯)
- Honda**スマートキーシステム警告灯**
  (数秒後消灯)
- **アダプティブクルーズコントロール(ACC)警告灯**
  (数秒後消灯)
- **レーンキープアシストシステム(LKAS)警告灯**
  (数秒後消灯)
- **アンチロックブレーキシステム(ABS)警告灯**
  (数秒後消灯)
- SRS**エアバッグシステム警告灯**
  (約6秒後消灯)
- **ビークルスタビリティアシスト(VSA:車両挙動安定化制御システム)警告灯**
  (数秒後消灯)
- **追突軽減ブレーキ(CMBS)警告灯**
  (数秒後消灯)
- **アダプティブフロントライティングシステム(AFS)警告灯**
  (数秒後消灯)
- **エレクトリックパワーステアリング(EPS)警告灯**
  (エンジン始動後消灯)
- **パワーステアリング(ECPS)警告灯**
  (エンジン始動後消灯)
- SH-AWD**(スーパーハンドリングオールホイールドライブシステム)警告灯**
  (数秒後消灯)

スイッチの使いかた

エンジンスイッチノブ（Hondaスマートキーで操作するとき）



0（プッシュオフ）
エンジンスイッチノブがロックされる位置です。

0（プッシュオン）
エンジンスイッチノブを押して、ロックが解除されるとエンジンスイッチノブを回すことができます。

I
エンジンをかけずにラジオなどのアクセサリーを使用するときの位置です。

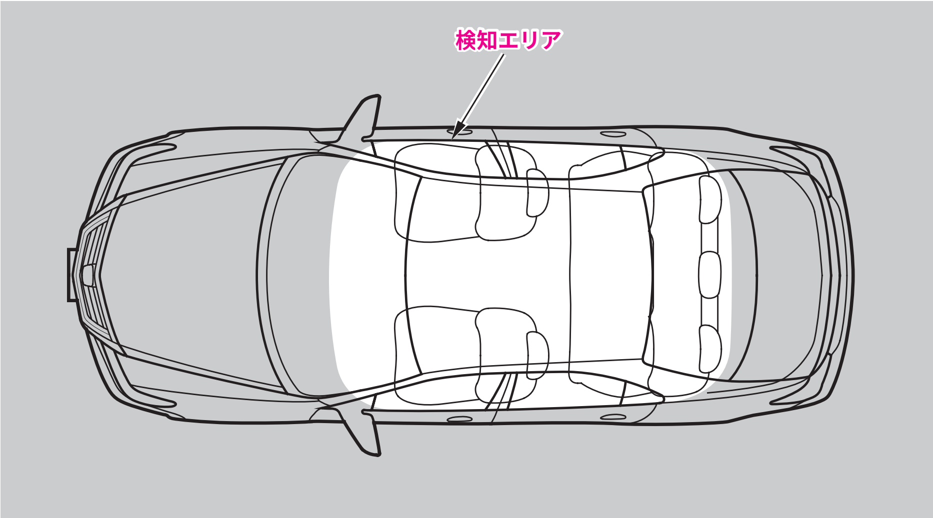
II
運転するときの位置です。

III
エンジン始動位置です。ノブを“ III ”に回した後に、“ II ”に戻してください。自動でエンジンが始動します。

●エンジン始動の作動範囲

エンジン始動の機能が作動する範囲は、インストルメントパネル上やリヤシェルフ、グローブボックス、ドアポケットなどの各種小物入れやトランク内を除く車内です。

エンジンのかけかた　→188ページ

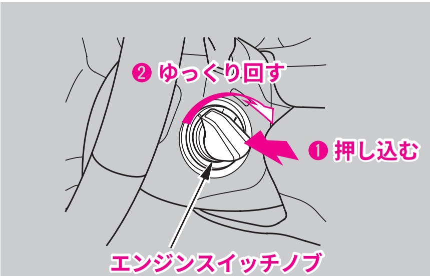


知　識

- Hondaスマートキーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所などでは、作動範囲が狭くなったり、作動が不安定になることがあります。
- 次のような場合、システムがHondaスマートキーを認識できないため、エンジンスイッチノブの操作ができず、エンジンが始動できないことがあります。
  - インストルメントパネル上やリヤシェルフ、グローブボックスや各種小物入れなどにHondaスマートキーを置いたとき。
  - Hondaスマートキーを入れている物（バッグやポケット）の中に、携帯端末などの電波を発する物やノイズを発する物があるとき。
- 車外にHondaスマートキーがあっても、ドアやドアガラスに近づき過ぎている場合は、エンジンの始動ができることがあります。

エンジンスイッチノブを“ O ”から“ I ”へ回すとき

①エンジンスイッチノブを押し込みます。
②エンジンスイッチノブのロックが解除されると“ ピッ ”とブザーが鳴ります。ブザーが鳴ったら、エンジンスイッチノブを“ I ”へゆっくり回します。



知 識

- ロック解除のブザーの音量を変えることができます。

カスタマイズ機能 →330ページ

エンジンスイッチノブが“ O ”から“ I ”に回らないとき（ハンドルロックの解除）

ハンドルを左右に回しながらエンジンスイッチノブを回せば容易に回ります。
もし、エンジンスイッチノブが回らない場合は、もう一度エンジンスイッチノブを押し直してゆっくりと回してください。
Hondaスマートキーの作動不良などにより、エンジンスイッチノブが回せない場合は、いったんエンジンスイッチノブを戻し、内蔵キーを使ってエンジンスイッチを回してください。

内蔵キーを使ってエンジンスイッチを操作するとき →168ページ

エンジンスイッチノブを“ 0 ”に回すとき

・セレクトレバーをⓅにします。
・エンジンスイッチノブを“ 0 ”に回します。

車から離れるときは、エンジンスイッチノブを“ 0 ”にしてから離れるようにしてください。

知　識

- エンジンスイッチノブを“ 0 ”にするときは、途中の位置で止めずに“ 0 ”まで回してください。
- エンジンを止めた状態で“ I ”または“ II ”のまま、長時間放置しないでください。
  バッテリー容量が低下し、エンジンがかからなくなることがあります。
- エンジンスイッチノブが“ 0 ”以外では、Hondaスマートキーで施錠できません。車から降りてドアを閉めたときや、Hondaスマートキーで施錠しようとしたとき警告ブザー（ピピピピピピ）が鳴ったときは、車の状態を確認してください。
  Hondaスマートキー持ち去り警告
  →165ページ
- エンジンスイッチノブを“ 0 ”にするとハンドルがロックされます。
- セレクトレバーがⓅ以外のときは、エンジンスイッチノブが“ 0 ”まで回りません。

●エンジンスイッチノブ警告ブザー

エンジンスイッチノブが“Ｉ”のときマルチインフォメーションディスプレイに“エンジンスイッチノブが“Ｉ”です”と表示されます。



このとき車を離れようとすると(運転席ドアを開けると)、マルチインフォメーションディスプレイに“エンジンスイッチノブを“０”にして下さい”と表示され、“ポーン、ポーン、・・・”と警告ブザーが繰り返し鳴り、エンジンスイッチノブを“０”にしていないことを知らせます。



知　識

- 次の場合に運転席ドアを開けたときにもブザーが鳴ります。
  - エンジンスイッチノブが“０”の位置で、ノブを押し込んでいる場合
- エンジンスイッチノブ警告ブザーの音量を変えることができます。

カスタマイズ機能　→330ページ

●Hondaスマートキー持ち去り警告

Hondaスマートキーシステムでは、誤操作や車両盗難防止のために警告音が鳴り、マルチインフォメーションディスプレイに警告を表示します。
警告音が鳴り警告表示が出た場合は、必ず車両およびHondaスマートキーの確認を行ってください。

▼

Hondaスマートキーをエンジン始動の作動範囲外に持ち出してドアを閉めると、Hondaスマートキー持ち去り警告が作動します。

エンジン始動の作動範囲　→161ページ

警告ブザーの種類

警告ブザーは、車内警告ブザーと車外警告ブザーの２種類があります。

・車内警告ブザー

“ ピーッピーッピーッピーッピーッピーッ ”と６回鳴ります。

・車外警告ブザー

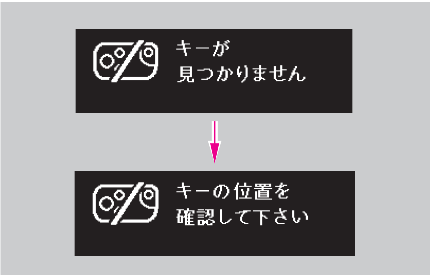
“ ピピピピピピ ”と６回鳴ります。

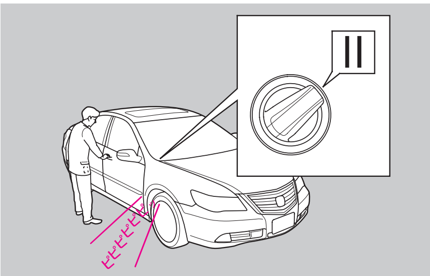
知　識

- Hondaスマートキーを持ち出した状態で、エンジンスイッチノブを“ ０ ”(プッシュオフ)にすると、エンジンスイッチノブの操作ができなくなります。
  エンジンスイッチノブを操作するときは、Hondaスマートキーを持っていることを確認してください。
- 窓からの受け渡しでは、Hondaスマートキーの持ち去りを検知せず、警告は作動しません。
- エンジン始動の作動範囲内にHondaスマートキーがあってもHondaスマートキーの携帯状態や周囲の環境、電波状態などにより、Hondaスマートキーの位置を認識できないときも、警告が行われます。
  故障ではありませんが、Hondaスマートキーを携帯していることを確認してください。

エンジンスイッチノブが“II”のとき

マルチインフォメーションディスプレイに“キーが見つかりません" キーの位置を確認して下さい”と表示され、車内警告ブザーと車外警告ブザーが鳴ります。





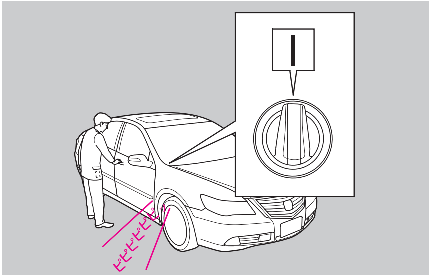
知 識

● 車内警告ブザーの音量を変えることができます。

カスタマイズ機能 →330ページ

エンジンスイッチノブが“ I ”または“ 0 ”(プッシュオン)のとき

車外警告ブザーが鳴ります。



Hondaスマートキー持ち去り警告が出たときは

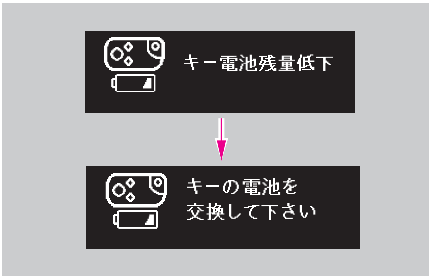
エンジン始動の作動範囲内にHondaスマートキーを戻して、ドアを閉めると警告が解除されます。

エンジン始動の作動範囲内であってもHondaスマートキーの位置や状態、周囲の環境や電波状態などにより、警告が解除されず、再度Hondaスマートキー持ち去り警告が行われることがあります。故障ではありませんが、Hondaスマートキーを携帯していることを確認してください。
警告状態が続く場合は、Hondaスマートキーの携帯位置を変更することをお勧めします。

●Hondaスマートキー電池消耗警告

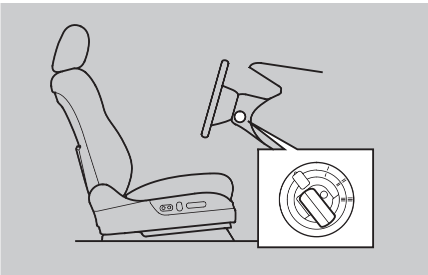
Hondaスマートキーの電池が消耗するとマルチインフォメーションディスプレイに警告が表示され、車内警告ブザーが鳴ります。
マルチインフォメーションディスプレイに電池残量を示す表示が出た場合や作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられますので、早めに電池を交換してください。

電池交換のしかた　→401ページ



内蔵キーを使ってエンジンスイッチを操作するとき

Hondaスマートキーによるエンジンスイッチノブの操作や、エンジンの始動ができない場合は、内蔵キーを使ってエンジンスイッチの操作や、エンジンの始動をすることができます。

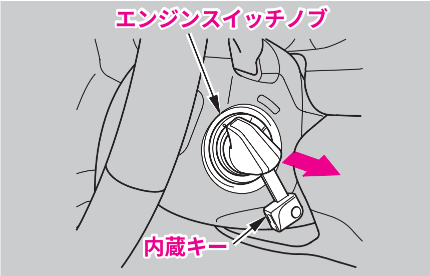


●エンジンスイッチ

0	内蔵キーを抜き差しする位置です。
I	エンジンをかけずにラジオなどのアクセサリーを使用するときの位置です。
II	運転するときの位置です。
III	エンジン始動位置です。 キーを“ III ”に回した後に、“ II ”に戻してください。自動でエンジンが始動します。

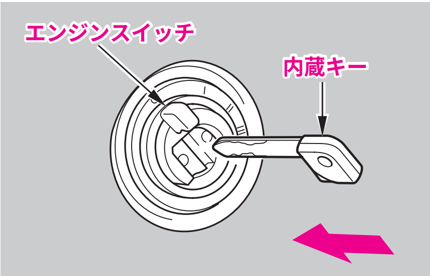
エンジンスイッチノブの外しかた

内蔵キーをエンジンスイッチノブの穴に差し込んで、挿入方向に押し込みながらエンジンスイッチノブを手前に引き、エンジンスイッチノブを外します。

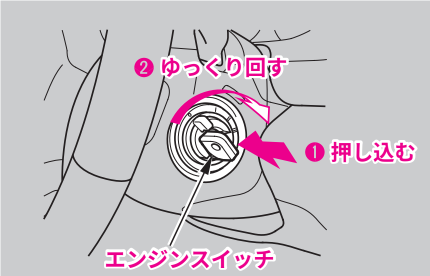


エンジンスイッチを“ 0 ”から“ Ｉ ”へ回すとき

①エンジンスイッチに内蔵キーを図の向きで差し込みます。



②内蔵キーを押し込んでエンジンスイッチを“ 0 ”から“ Ｉ ”に回すとハンドルロックが解除できます。



内蔵キーを抜くとき

- セレクトレバーをⓅに入れます。
- “ 0 ”まで回して内蔵キーを抜きます。

知　識

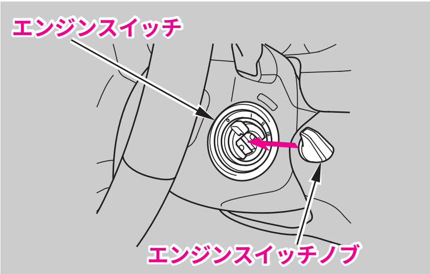
- 内蔵キーをエンジンスイッチから抜くと、ハンドルがロックされます。
- セレクトレバーがⓅ以外のときは、エンジンスイッチが“ 0 ”まで回らず、内蔵キーを抜くことができません。

“ 0 ”から“ Ⅰ ”に内蔵キーが回らないとき（ハンドルロックの解除）

ハンドルを左右に回しながら内蔵キーを回せば容易に回ります。

エンジンスイッチノブの取り付けかた

エンジンスイッチノブをエンジンスイッチに“ カチッ ”と音がするまで差し込みます。



知　識

- エンジンスイッチを“ 0 ”にするときは、途中の位置で止めずに“ 0 ”まで回してください。
- エンジンを止めた状態で“ Ⅰ ”または“ Ⅱ ”のまま、長時間放置しないでください。
  バッテリー容量が低下し、エンジンがかからなくなることがあります。
- 車から離れるときは、バッテリー保護のため必ず“ 0 ”にしてください。

●内蔵キー抜き忘れ警告ブザー

エンジンスイッチが“Ｉ”のとき

エンジンスイッチが“Ｉ”のときマルチインフォメーションディスプレイに“エンジンスイッチノブが“Ｉ”です”と表示されます。



このとき車を離れようとすると（運転席ドアを開けると）、マルチインフォメーションディスプレイに“エンジンスイッチノブを“０”にして下さい”と表示され、“ポーン、ポーン、･･･”と警告ブザーが繰り返し鳴り、エンジンスイッチを“０”にしていないことを知らせます。



エンジンスイッチが“０”のとき

エンジンスイッチが“０”で内蔵キーを差し込んだまま車を離れようとしたとき（運転席ドアを開けたとき）、マルチインフォメーションディスプレイに“キーが差し込まれています”と表示され、“ポーン、ポーン、･･･”と警告ブザーが繰り返し鳴り、内蔵キーの抜き忘れを知らせます。



知　識

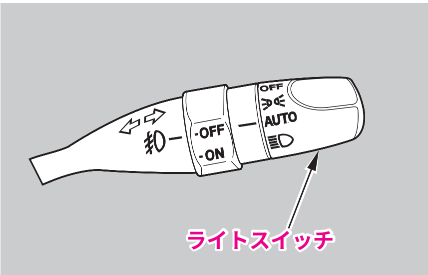
●内蔵キー抜き忘れ警告ブザーの音量を変えることができます。

カスタマイズ機能　→330ページ

ライトスイッチ

●ライトの点灯・消灯

自動で使うとき
（オートライトコントロール）
エンジンスイッチノブが“ II ”のとき使えます。ライトスイッチを“ AUTO ”の位置にすると、車外の明るさによってヘッドライトや車幅灯などが自動的に点灯・消灯します。



車外が暗くなると、まず車幅灯、尾灯、番号灯が自動的に点灯します。さらに暗くなるとヘッドライトが点灯します。
車外が明るくなると、逆の順に消灯します。
ライト類が点灯すると、メーター内の表示灯が点灯します。

ライト点灯表示灯　→141ページ

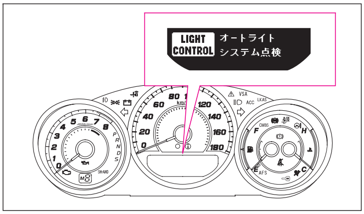
知　識

- ライト類の点灯、消灯のタイミングセンサーの感度を５段階で設定できます。

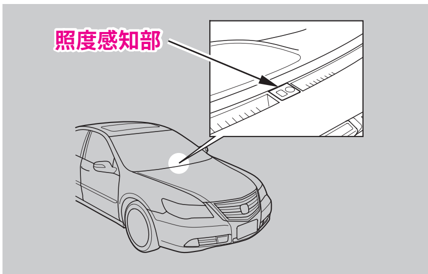
カスタマイズ機能　→330ページ

知　識

- 昼間、濃い霧などにより視界が悪いときには、自動では点灯しません。手動で点灯してください。
- マルチインフォメーションディスプレイに“ オートライトシステム点検 ”と表示されたときには、手動位置に切り換えてお使いください。
  お早めにHonda販売店で点検を受けてください。

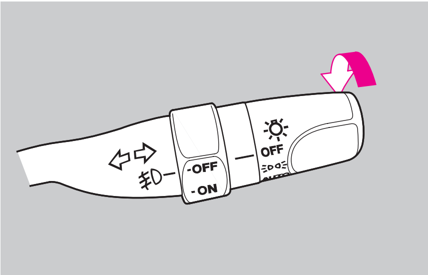


照度感知部は図の位置にあります。感知部の上に物を置かないでください。



手動で使うとき

エンジンスイッチノブの位置に関係なく次のように点灯、消灯します。



スイッチの位置		
ヘッドライト	―	点灯
車幅灯・尾灯 番号灯	点灯	点灯

ライト類が点灯すると、メーター内の表示灯が点灯します。

ライト点灯表示灯　→141ページ

知　識

- エンジンが止まっている状態で、ライト類を点灯したままにしないでください。バッテリーあがりの原因となります。
- ディスチャージヘッドライトのバルブは、点灯・消灯を繰り返すとバルブの寿命が短くなる特性があります。

●ライト消し忘れ警告ブザー

ライトを点灯したままエンジンスイッチノブを“ 0 ”(プッシュオフ)にする、または内蔵キーをエンジンスイッチから抜いて、車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)、“ ポーン･･･ ”と警告ブザーが連続して鳴りマルチインフォメーションディスプレイに“ ライトが点灯しています ”と表示されライトの消し忘れを知らせます。



知　識

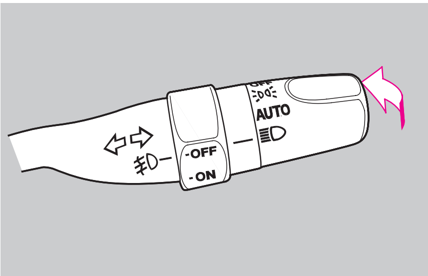
- ライト消し忘れ警告ブザーの音量を変えることができます。

カスタマイズ機能　→330ページ

●ヘッドライトの上向き（ハイビーム）と下向き（ロービーム）の切り換え

レバーを前方へ押すと上向きになります。
戻すと下向きになります。
上向きのときは、メーター内の表示灯が点灯します。

ヘッドライトの上向き（ハイビーム）表示灯 →141ページ

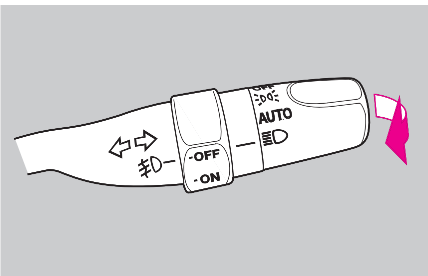


知　識

●対向車のあるときや市街地走行など、上向きが不適切なときは下向きにします。

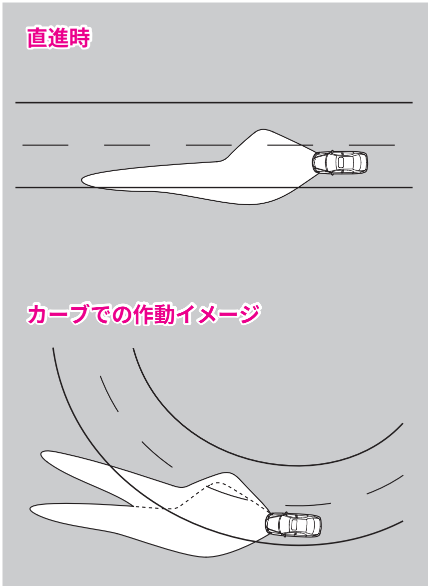
●追越合図（パッシング）

レバーを手前に引いている間、上向きが点灯します。



●アダプティブフロントライティングシステム（AFS）

アダプティブフロントライティングシステム（AFS）は、カーブ走行時および交差点での右左折において、旋回方向側のヘッドライト（ロービーム側）の配光をハンドルの操作角に応じて進行方向に振り分ける機能で、夜間走行時の視認性を向上させることができます。

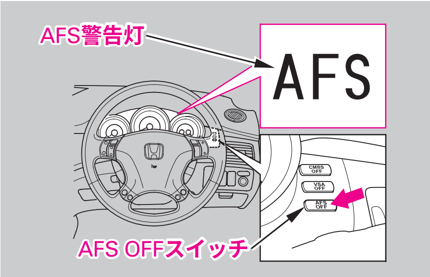


作動について

AFS機能はエンジンを始動すると自動的に“ ON ”になります。ヘッドライトを点灯させるとAFSが作動します。

AFS機能を作動させたくないとき

ライト類が点灯しているとき、AFS OFFスイッチを押すとAFS機能が“ OFF ”になり、メーター内のAFS警告灯が点灯します。スイッチを押すたびに“ OFF ”、“ ON ”を繰り返します。

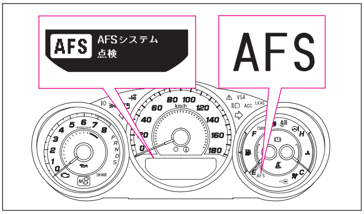


知　識

- エンジンスイッチノブを“ 0 ”または“ Ⅰ ”から“ Ⅱ ”にした直後は、ヘッドライトを点灯させてもAFSは作動しません。そのまま20km/h以上でしばらく走行するとAFSの作動が始まります。
  また、しばらく走行後ヘッドライトを点灯した場合は車速が約10 km/h以上になると作動が始まり、約５km/h以下になると作動が停止します。

知　識

- セレクトレバーが🅁の位置のときは、AFS機能は作動しません。
- 滑りやすい路面などでタイヤが空転したときはAFS警告灯が点滅しAFSの制御を停止することがあります。
- 運転中にAFS警告灯が点滅したときは、安全な場所に停車しエンジンスイッチノブを“ Ⅰ ”または“ 0 ”に回してから、エンジンを再始動してください。そのとき警告灯が消灯すれば正常です。
  消灯しないときや再び点滅したときは、通常走行に支障はありませんがお早めにHonda販売店で点検を受けてください。
  また、マルチインフォメーションディスプレイにも“ AFSシステム点検 ”が表示されます。



- エンジンスイッチノブを“ 0 ”または“ Ⅰ ”から“ Ⅱ ”にすると、作動確認のために一度ヘッドライト（ロービーム側）が動きます。

知　識

● 応急用スペアタイヤを装着したときは、AFS機能が正常に作動しなくなる場合がありますので、AFS OFFスイッチを押して"OFF"にしてください。また、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。
● 雪の斜面などにヘッドライトが反射して運転の妨げになるときは、AFS OFFスイッチを押して"OFF"にしてください。

●オートレベリング機能

ヘッドライトには、積載時などの車両の姿勢の変化に応じて光軸の上下方向を自動的に調節するオートレベリング機能が装備されています。

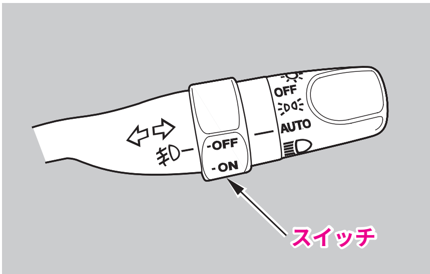
アドバイス

● ヘッドライト光軸の上下方向に異常を感じたときはHonda販売店で点検を受けてください。

フォグライトスイッチ

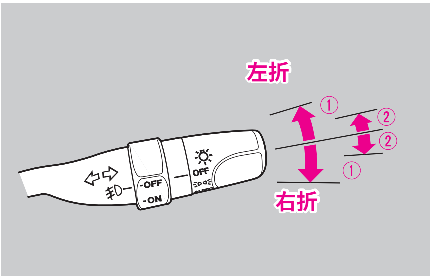
ライトスイッチが"OFF"以外のとき("AUTO"のときは車幅灯やヘッドライトが点灯しているときのみ)スイッチをON("　")にするとフォグライトが点灯します。
同時にメーター内の表示灯が点灯します。

フォグライト点灯表示灯　→141ページ



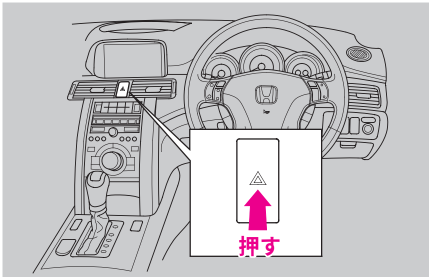
方向指示器（ウィンカー）スイッチ

エンジンスイッチノブが“ II ”のとき使えます。ふだんは①の位置で使います。
この位置ではハンドルの切り角が小さいときには戻らない場合もあります。戻らないときは手で戻してください。
車線変更などでは②の位置に軽く手で押さえながら使います。



非常点滅表示灯（ハザード）スイッチ

スイッチを押すとすべての方向指示器のランプが点滅します。
故障でやむをえず路上駐車するときに使います。



知　識

- 非常時にのみお使いください。
  完全充電の新しいバッテリーでも約２時間以上使うとバッテリー容量が低下し、エンジンの始動ができなくなります。

ワイパー／ウォッシャースイッチ

⚠注意

- 寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。
  ウォッシャー液が凍りついて視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知　識

- から拭きをしないでください。ガラス面に傷をつけたり、ブレード（ゴム部）を傷めたりします。
- ウォッシャー液が出ないときはウォッシャースイッチを切ってください。
  ウォッシャー液がないままで動かすとポンプの故障の原因となります。
- 寒冷時、ブレード（ゴム部）がガラス面に張りつくことがありますのでデフロスターを使ってフロントガラスを暖めてください。
  凍りついたまま動かすとブレード（ゴム部）を傷めたり、ワイパーモーターの故障の原因となります。

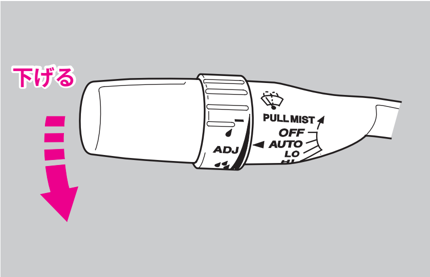
デフロスター　→288ページ

知　識

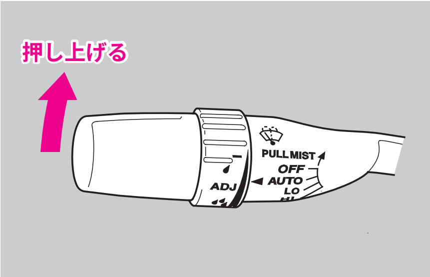
- ワイパーを作動中にガラスに雪などがたまりワイパーが停止したときは、安全な場所に停車してワイパースイッチを“OFF”、エンジンスイッチノブを“0”または“Ⅰ”にしてワイパーが作動できるように雪などの障害物を取り除いてください。
- ワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。
  モーターの負荷が大きい状態が続いたときなどには、ブレーカーが作動し、一時的にモーターが止まることがあります。
  数分ほどすると、ブレーカーが復帰して通常通り使用できるようになります。

エンジンスイッチノブが“ II ”のとき使えます。

●ワイパースイッチ

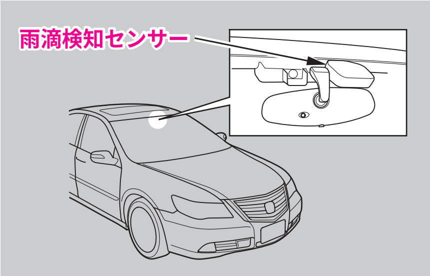


OFF ・・・・・・・・・・・・・・・ 停止
AUTO（自動）・・・・・・・ 雨量に応じて自動で制御するとき
LO（低速）・・・・・・・・・・ 普通雨量のとき
HI（高速）・・・・・・・・・・・ 雨量の多いとき



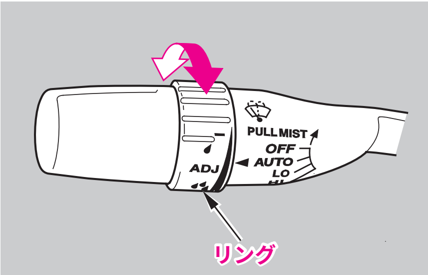
MIST ・・・・・・・・・・・・・・・
レバーを押し上げている間、高速で作動します。
霧や小雨のときなどに使うと便利です。

自動で使うとき
レバーを“ AUTO ”にすると、ワイパーが１回作動し、その後は自動作動に切り換わります。
フロントガラス上部にある雨滴検知センサーが検出した雨滴量に応じて、停止、間欠作動、低速作動、高速作動のいずれかの作動をします。



・**センサー感度の調節**

リングを回すとセンサー感度の調節ができます。



位置	感度
− ADJ +	鈍感 ↕ 敏感

鈍感……雨滴に対して、より鈍感に反応してワイパーを作動します。

敏感……雨滴に対して、より敏感に反応してワイパーを作動します。

⚠注意

- エンジンスイッチが“ II ”でレバーが“ AUTO ”のとき、雨滴検知センサー上部のガラス面に手で触れたり、布で拭き取ったりすると、ワイパーが作動することがあり、手をけがしたりワイパーが損傷することがあります。
  フロントガラスの手入れをするときは、レバーを必ず“ OFF ”にしてください。

知　識

- 降雨、降雪時でも、雨や雪が雨滴検知センサーに当たらないと、ワイパーが作動しないことがあります。
  また、雪が雨滴検知センサーに当たっても雪の種類によっては正しく検出できないことがあります。この場合には、レバーを“ LO ”または“ HI ”に切り換えてください。
- センサー上部のガラス面が汚れていたり氷結すると、ワイパーが正常に作動しないことがあります。この場合は、ガラス上の異物を取り除いてください。
- 雨滴検知センサーに、泥、指紋、油膜、虫などが付着すると、ワイパーが作動することがあります。
- レバーが“ AUTO ”の位置でエンジンを始動した場合、すでにガラスに付いている雨滴を雨滴検知センサーが検知しないことがあります。この場合は、レバーを“ MIST ”にして一度雨滴を拭き取ってください。

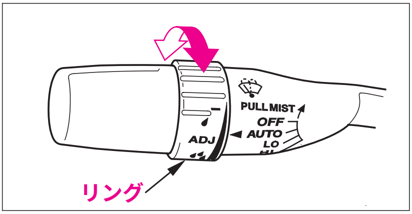
知　識

- 雨滴量が変化しているのにワイパーが一定間隔で作動しているときなどは、雨滴検知センサーが故障しているおそれがあります。このようなときは、ワイパースイッチの切り換えは手動で行い、Honda販売店で点検を受けてください。
  なお、雨滴検知センサーが故障しているときは、レバーが“ AUTO ”の位置でもオート作動を中断して、間欠作動に切り換わります。
  間欠作動の間隔のセットは、リングを回して行います。
- ワイパーの自動作動を、間欠作動、車速連動作動に変更することができます。
  また、間欠作動中、車速連動作動中の発進時の作動を解除することができます。

カスタマイズ機能　→330ページ

“ 間欠作動 ”、“ 車速連動 ”設定時

・間欠作動の間隔のセットはリングを回して行います。



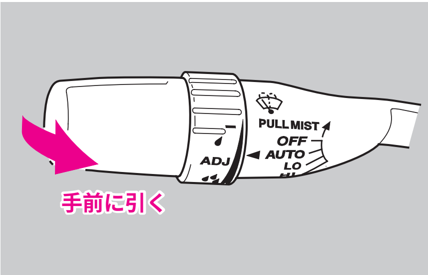
位置	間隔
−	長い
ADJ	↕
+	短い

“ 車速連動 ”設定時

・間欠作動中は、車速が速くなると間隔が停止時より約４秒短くなります。
　また、発進時にワイパーが１回作動します。
・リングを間欠時間の短い方へいっぱいに回しているときに、車速が速くなるとワイパーが間欠から低速作動になります。

●ウォッシャースイッチ

レバーを手前に引くとウォッシャー液が噴射します。レバーを引いている間はワイパーが作動し、レバーを離した後さらに２～３回作動します。



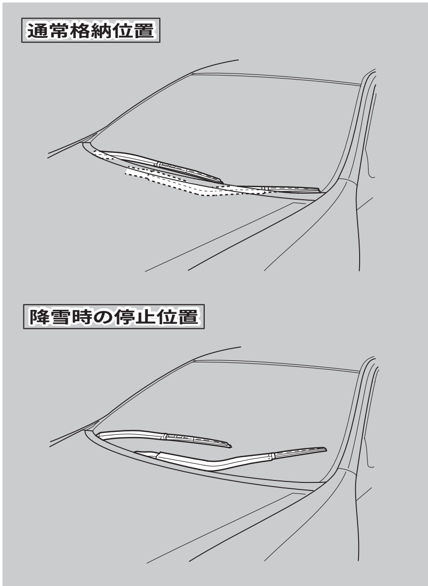
知　識

- ウォッシャースイッチとワイパー作動の連動を解除することができます。

カスタマイズ機能　→330ページ

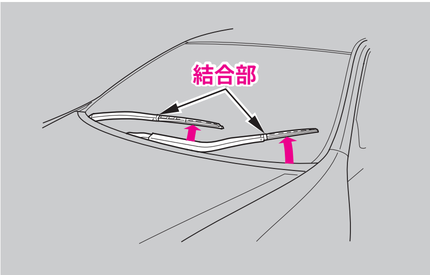
●ワイパーアームの停止位置について

積雪などによりワイパーブレードが凍結するおそれがある場合は、ワイパーアームを通常格納位置にせず、あらかじめ降雪時の停止位置で止めておくようにしてください。



ワイパーアーム停止位置の切り換え

降雪時の停止位置への切り換えは、ワイパーアームとワイパーブレードの結合部を持って、ガラスに沿って引き上げてください。



通常位置に戻したい場合は、結合部上部を押してガラスに沿って下げてください。

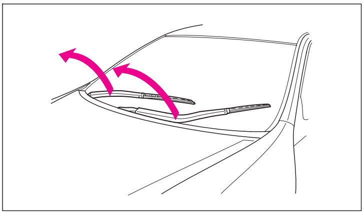
アドバイス

- ワイパーブレードのみを持って引き上げないでください。ワイパーブレードが変形するおそれがあります。必ず結合部を持ってください。

知　識

- 降雪時、通常格納位置で使っているときに、ワイパーブレードの下部にたまった雪によって“降雪時の停止位置”に切り換わります。雪のたまり方によっては、切り換わらずにコツンコツンと音がすることがあります。この場合は降雪時の停止位置に切り換えて、雪を取り除いてください。
- ワイパーブレードラバーの交換のときなどワイパーアームを起こすときは、降雪時の停止位置に引き上げてから、起こしてください。

ワイパーブレードラバーの交換
→412ページ



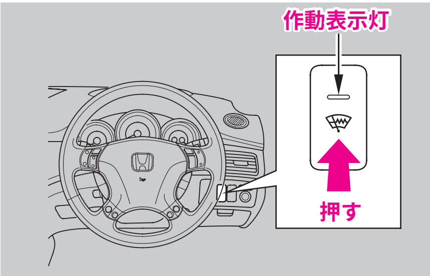
フロントガラス熱線スイッチ

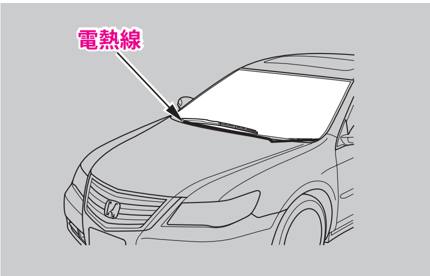
タイプ別装備

フロントガラスの下端を暖め、凍結によるワイパーブレードラバーの損傷、雪や氷などの固着を防ぐことができます。また、固着した雪や氷の除去を容易にします。

▼

エンジンスイッチが“ II ”のときスイッチを押すと“ ON ”になり、同時に作動表示灯が点灯します。もう一度スイッチを押すと“ OFF ”になり、作動表示灯は消灯します。





知 識

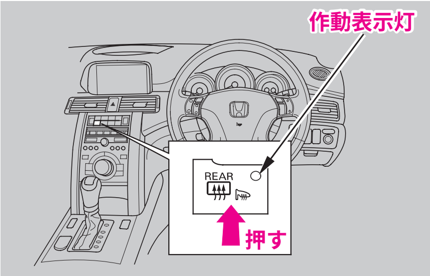
● この装置は消費電力が大きいので長時間使わないでください。“ ON ”のままであっても、約15分経過後自動的に“ OFF ”になります。また、長時間にわたる連続使用も行わないでください。エンジンの回転が低いときも長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

リヤデフロスタースイッチ

リヤガラスを暖め、曇りを取ることができます。

▼

エンジンスイッチノブが“ II ”のときスイッチを押すと“ ON ”になり、同時に作動表示灯が点灯します。もう一度スイッチを押すと“ OFF ”になり、作動表示灯は消灯します。

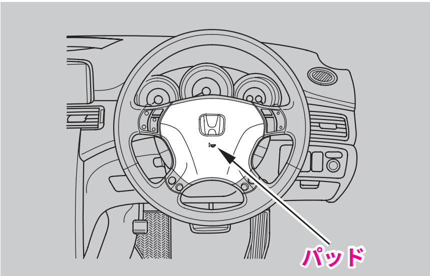


知　識

- リヤデフロスタースイッチを押すと、ドアミラーの曇り取りも同時に機能します。
  ヒーテッドドアミラー
  →100ページ
- この装置は消費電力が大きいので曇りが取れたら“ OFF ”にしてください。“ ON ”のままであっても、外気温に応じて約５分〜40分経過後自動的に“ OFF ”になります。また、エンジンの回転が低いとき長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。
- リヤガラスの内側に電熱線が装着されています。電熱線は傷つきやすいので清掃のときは電熱線に沿ってやわらかい布で拭いてください。また、手荷物などで傷つけないようにしてください。

ホーンスイッチ

ハンドルのパッドを押すとホーンが鳴ります。



運転のしかた

エンジンのかけかた

⚠警告

- バッテリー液が不足しているときは、エンジンの始動をしないでください。
  バッテリーが破裂するおそれがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところでは、エンジンをかけたままにしないでください。
  車内や屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

⚠注意

- エンジンを始動するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

アドバイス

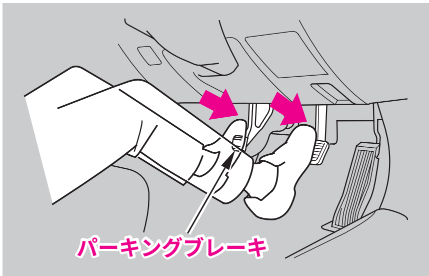
- 排気音が変わったり、車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えない場合は、排気系や燃料系の異常が考えられますので、必ずHonda販売店で点検を受けてください。

Hondaスマートキーは運転者が携帯してください。
車内にHondaスマートキーを残したまま、降車しないでください。
また、電池の消耗などでHondaスマートキーが正常に作動しないときは、内蔵キーを使ってエンジンを始動してください。

内蔵キーを使ってエンジンスイッチを操作するとき →168ページ

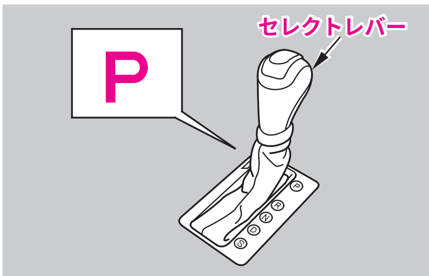
①パーキングブレーキがかかっていることを確認します。

パーキングブレーキの操作 →191ページ



②セレクトレバーがⓅの位置にあることを確認してください。

セレクトレバーの操作 →194ページ



③ブレーキペダルをしっかりと踏みます。

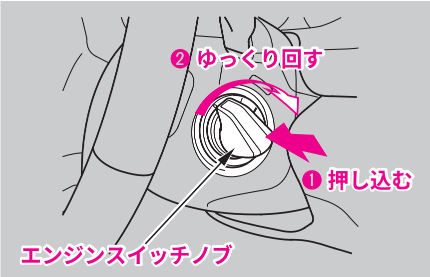
④ Hondaスマートキー使用時

エンジンスイッチノブを押し込みます。

“ ピッ ”というブザーが鳴ったら、エンジンスイッチノブを回すことができます。

また、ハンドルがドライバー１もしくはドライバー２で記憶させた位置に自動的に調節されます。

ドライビングポジションシステム
→102ページ



内蔵キーでエンジンを始動するとき

エンジンスイッチに内蔵キーを差し込むとハンドルがドライバー１もしくはドライバー２で記憶させた位置に自動的に調節されます。

ドライビングポジションシステム
→102ページ

内蔵キーを押すとエンジンスイッチを回すことができます。

⑤アクセルペダルを踏まずに、エンジンスイッチノブを“ III ”に回してから“ II ”に戻します。



知　識

- 消費電力の大きいライト類、エアコン、リヤデフロスターのスイッチは“ OFF ”にした方が始動は容易になります。

知 識

●周囲の電波状態などによりエンジンが始動できないことがあります。

イモビライザーシステムについて
→84ページ

●エンジンスイッチノブまたはエンジンスイッチを“ II ”にした直後（イモビライザーシステム表示灯点灯中）は、エンジンが始動できないことがありますので、表示灯が消灯するのを確認してから、スターターを回すことをおすすめします。

イモビライザーシステム表示灯
→143ページ

●スターターが回り始めてから所定時間（6～10秒）以内にエンジンが始動しなかった場合は、スターターは自動的に停止します。スターターが停止するまでの時間はエンジンの状態によって変化します。

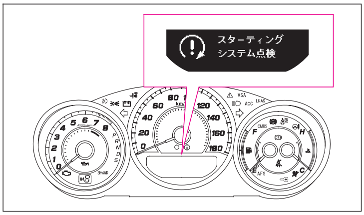
●エンジンスイッチノブまたはエンジンスイッチを“ II ”に戻さずに連続してスターターを回したときは、所定時間（19～25秒）以上は回りません。連続してスターターを回してもエンジンが始動しなかったときは、一度エンジンスイッチノブまたはエンジンスイッチを“ I ”に戻して10秒以上待ってから再始動してください。
スターターが停止するまでの時間はエンジンの状態によって変化します。

知 識

●エンジンがあたたまっていると始動に時間がかかることがあります。アクセルペダルを半分程度踏み込んだまま、スターターを回してください。エンジンが始動したらアクセルペダルを徐々に戻してください。

●エンジン始動後は、エンジン制御システムの働きによりエンジン回転が高くなりますが、自動的に適正回転に下がります。

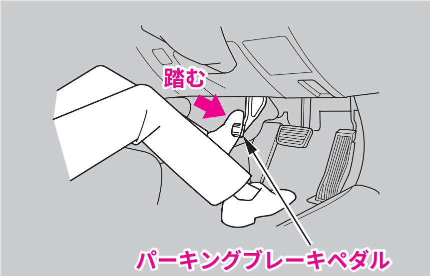
●マルチインフォメーションディスプレイに“ スターティングシステム点検 ”が表示されたときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。



パーキングブレーキ

かけるとき

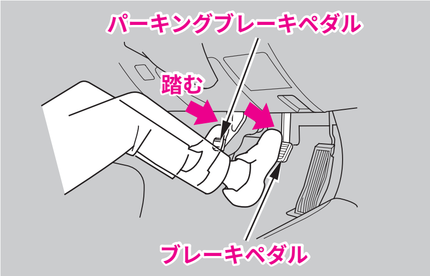
左足でパーキングブレーキペダルをいっぱいに踏み込みます。



後輪ブレーキが効きます。

解除するとき

右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルを踏み込み、ゆっくりと離します。



⚠注意

●パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。
ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

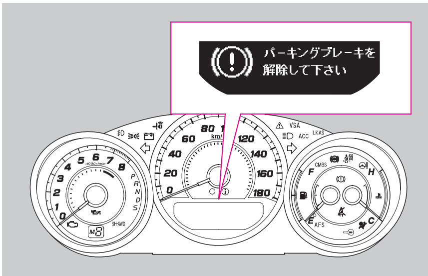
知 識

●パーキングブレーキをかけたあとに再度かけなおしたいときは、一度解除してからもう一度踏み込んでください。
●駐車するときは、車が動き出さないように必ずパーキングブレーキをかけてください。
寒冷時のパーキングブレーキの取り扱い →432ページ

パーキングブレーキ戻し忘れ警告ブザー

パーキングブレーキが完全に解除されていない状態で走行（車速約７km/h以上）するとブザーが鳴り、パーキングブレーキの戻し忘れを知らせます。パーキングブレーキを完全に解除するとブザーは止まります。
また、マルチインフォメーションディスプレイに“ パーキングブレーキを解除して下さい ”と表示されます。

ブレーキ警告灯 →149ページ



パーキングブレーキを解除するときは、一旦停車してから操作してください。

知 識

●停車（車速約３km/h以下）するとブザーによる警告は一旦止まります。
●パーキングブレーキ戻し忘れ警告ブザーの音量を変えることができます。
カスタマイズ機能 →330ページ

セレクトレバーの操作

●それぞれの位置のはたらき

P	パーキング	駐車およびエンジンを始動する位置。 エンジンスイッチノブまたはエンジンスイッチを“０”に戻す位置。

知　識

- セレクトレバーがⓅ以外のときは、エンジンスイッチノブまたはエンジンスイッチが“０”まで回りません。

R	リバース	車を後退(バック)させる位置。 チャイムが鳴り、セレクトレバーがⓇに入っていることを運転者に知らせます。

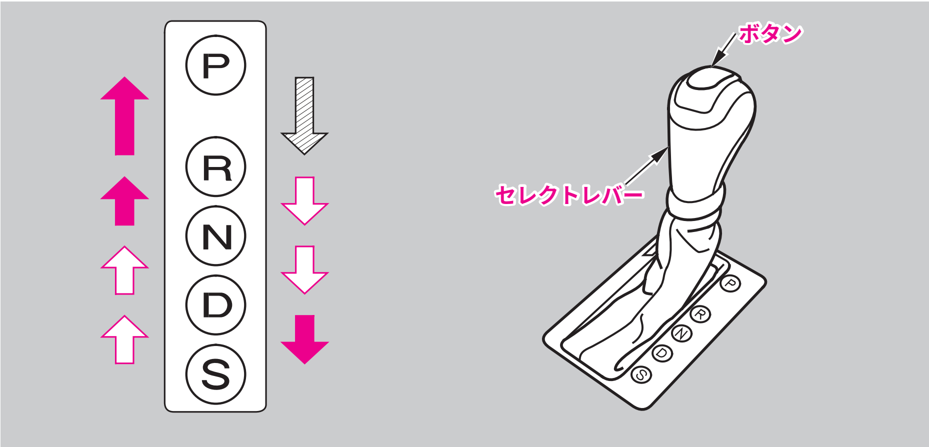
知　識

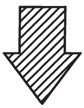
- チャイムの音量を変えることができます。　カスタマイズ機能　→330ページ

N	ニュートラル	中立位置。 (エンジン始動できますが、安全のためⓅで行ってください。)
D	ドライブ	通常の走行をする位置。 (１速から５速まで自動的に変速されます。) 一時的にシーケンシャルモードにすることができます。
S		シーケンシャルモードにする位置。 (１速から４速まで自動的に変速されます。) シフトスイッチを操作すると、シーケンシャルモードに切り換わります。

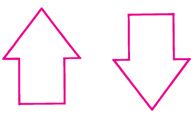
シーケンシャルモード　→197ページ

●セレクトレバーの動かしかた

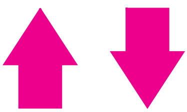




ブレーキペダルを踏んだまま、ボタンを押してレバーを操作します。



ボタンを押さずにレバーを操作します。



ボタンを押してレバーを操作します。

知 識

- セレクトレバーの操作は誤操作防止のため各位置ごとに節度をつけ、確実に行ってください。
- Pのときは、ボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- エンジンスイッチノブが“ Ｉ ”または“ ０ ”のときは、ブレーキペダルを踏んでもPから他の位置に切り換えられません。
  いつもボタンを押して操作すると、意に反してPRSに入れてしまうおそれがあります。
  ⇧⇩ の操作は、ボタンを押さずに動かす習慣をつけてください。

●速度範囲

エンジンを過回転させないために、下表の各セレクトレバー位置での速度範囲内で切り換えを行ってください。

セレクトレバーの位置	速度範囲(km/h)	変速範囲
D	0〜	1↔2↔3↔4↔5速(自動)
シーケンシャルモード	0〜	1↔2↔3↔4↔5速(手動)
S	0〜	1↔2↔3↔4速(自動)
シーケンシャルモード		1↔2↔3↔4↔5速(手動)

注意

- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。
  シフトダウンする際の車速には、十分注意してください。

アドバイス

- シーケンシャルモードでは自動的にシフトアップしません。
  エンジン故障などの原因となりますので、下記の限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。
  限界回転数 ……………………6,800 rpm

知 識

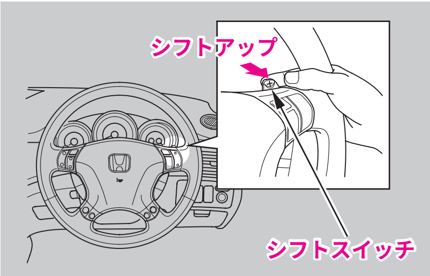
- 法定速度を守って走行してください。
- 1,000km走行するまではエンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け控えめな運転をしてください。
- エンジンの回転をあやまって限界回転数以上(レッドゾーン)で運転した場合、エンジン保護装置により、燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じることがありますが、異常ではありません。

●シーケンシャルモード

ハンドルにあるシフトスイッチを使って、ハンドルから手を離さずに手動で変速できます。
マニュアルトランスミッションのような操作ができます。

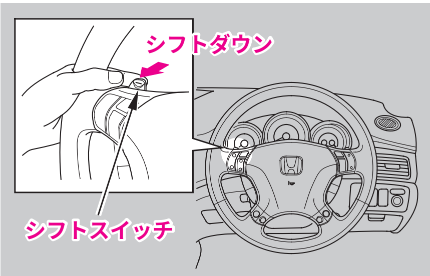
シフトアップするとき

スイッチの＋側を引くとシフトアップ（高速ギヤに変速）します。



シフトダウンするとき

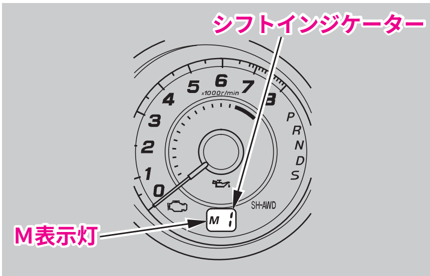
スイッチの－側を引くとシフトダウン（低速ギヤに変速）します。



知　識

- シフトスイッチの操作１回で、ギヤを１段変速します。連続して操作したときは、ギヤを連続して変速します。シフトスイッチを引いたままでは、連続変速しません。
続けて変速するときは、一旦シフトスイッチから指を離してから操作してください。
- シフトスイッチを引いたまま、もう一方のシフトスイッチを引いても変速しません。
- シフトスイッチの＋側と－側を同時に引いても変速しません。

シーケンシャルモードにするとメーター内にあるシフトインジケーターにギヤの位置を表示します。
セレクトレバーがⓈのときは、Ⓜ表示灯が点灯します。



セレクトレバーがⒹのとき

走行中に、シフトスイッチを引くとシーケンシャルモードがセットされます。シーケンシャルモードのときに定速で走行している状態や加速状態になると、シーケンシャルモードは自動で解除されますので、カーブの手前など、一時的に減速したいときに便利です。

セレクトレバーがⓈのとき

停車中や走行中に、シフトスイッチを引くとシーケンシャルモードがセットされます。

15km/h以下になると、自動的に１速にシフトダウンします。車速が上がっても、自動的にシフトアップはしません。

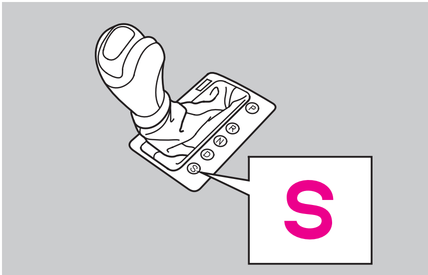
発進は１速または２速でのみ行うことができます。

知　識

- セレクトレバーをⓈにしたときは、１速から４速の自動変速になります。シーケンシャルモードにするときは、シフトスイッチを引いてください。

シーケンシャルモードを解除するとき

セレクトレバーをⓈからⒹに動かすと、シーケンシャルモードが解除され、Ⓜ表示灯とシフトインジケーターは消灯します。



M（シーケンシャルモード）表示灯

→197ページ

セレクトレバーがⒹのときは、定速で走行している状態や加速状態になると、通常のⒹ（ATモード）に戻ります。

２速固定モードの使いかた

セレクトレバーが[S]のときに停止または15km/h以下でシフトスイッチの＋側を引くと、２速固定モードになり２速に固定されます。雪道などの滑りやすい路面での発進がしやすくなります。
２速固定モードのときに、シフトスイッチの＋側か－側を引くと、２速固定モードは解除されます。

操作受けつけ車速

シーケンシャルモードでは、以下の条件のときにシフトスイッチを操作すると変速します。

	シフトアップ	シフトダウン
１速↔２速	０km/h以上	50km/h以下
２速↔３速	15km/h以上	100km/h以下
３速↔４速	27km/h以上	150km/h以下
４速↔５速	55km/h以上	――

また、シフトダウン時（５速→４速、４速→３速、３速→２速および２速→１速）に速度範囲を超えているときは、表示灯が点滅（最大約１秒間）します。点滅している間に車速が速度範囲内に下がったときはシフトダウンを行います。

知　識

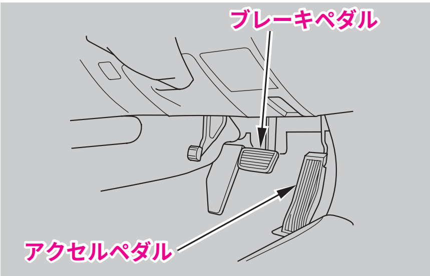
● シーケンシャルモード（セレクトレバー🅂）では、発進は１速または２速（２速固定モードのとき）で行えます。
● 以下の場合、自動的にシフトダウンすることがあります。
  • 15km/h以下になると、１速になります。
  • ２速固定モードのときは15km/h以下になっても２速のまま変速されません。
  • ５速で55km/h以下になると、４速になります。
  • ５速で55〜80km/hのときに、登坂時に車速が下がったときや、降坂時にブレーキを踏んだときは４速になることがあります。
  • ４速で27km/h以下になると、３速になります。
  • ４速で27〜55km/hのときに、登坂時に車速が下がったときや、降坂時にブレーキを踏んだときは３速になることがあります。

オートマチック車の運転のしかた

オートマチック車は、クラッチ操作とギヤの切り換えを自動化したもので、その分、操作の負担が軽くなり、運転が楽になりますが、運転の基本を十分理解し、正しく操作する習慣をつけてください。

エンジンをかける前に

正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。



知　識

- ペダルの踏みまちがいを防ぐため、ペダルの位置を実際に踏んでみて足におぼえさせておくことが重要です。
  また、不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。
- 車を少し移動させるときにもペダルが確実に踏めるように、正しい運転姿勢をとりましょう。

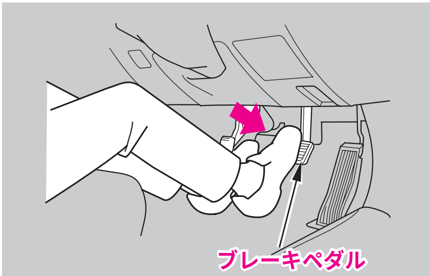
エンジン始動

①パーキングブレーキがかかっていることを確認。
②セレクトレバーがⓅに入っていることを確認。

知　識

- Ⓝでも始動できますが、安全のため駆動輪が固定されるⓅで行ってください。

③ブレーキペダルを右足で踏んで始動。

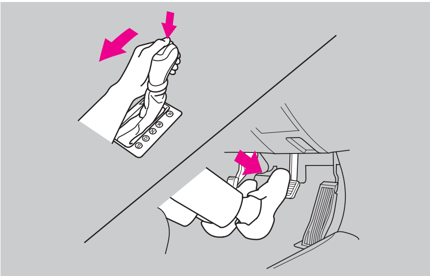


知　識

- イモビライザーシステム表示灯が点滅しているとエンジンを始動することができません。
  イモビライザーシステム →84ページ
  イモビライザーシステム表示灯 →143ページ
- 始動時にアクセルペダル操作が必要な場合は、始動後、右足でブレーキペダルを踏んでください。

発進

①右足でブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを前進はⒹ、後退はⓇに入れる。



⚠注意

● アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。急発進して思わぬ事故の原因になります。

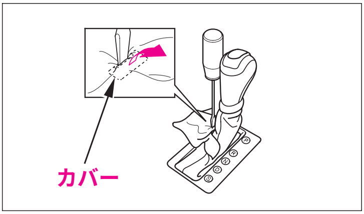
②レバーの位置を目で再確認。
③パーキングブレーキを解除する。
④ブレーキ警告灯が消灯したことを確認。(→149ページ)
⑤ブレーキペダルを徐々に離して、アクセルペダルをゆっくりと踏む。

知　識

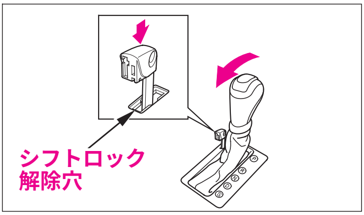
● セレクトレバーをⓅⓃ以外に入れると、クリープ現象により、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。ブレーキペダルを踏んでいてください。
● エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がり、クリープ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかり踏んでいてください。
● セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
● オートマチック車は、発進時の速度をアクセル操作のみで行うので、アクセル操作は慎重に行ってください。

知　識

- 万一、ブレーキペダルを踏んでもⓅから他の位置に切り換えられないときは、
  ①ドライバーの先端に布等をまいてシフトロック解除穴のカバーを外します。



  ②シフトロック解除穴に内蔵キーを差し込み、押しながらレバーを操作してください。



急な坂道での発進

セレクトレバーの位置を目で確認し、

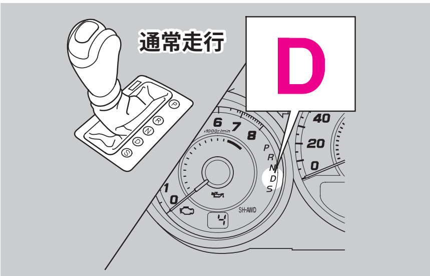
- パーキングブレーキをかけたままブレーキペダルを離し、
- アクセルペダルをゆっくり踏んで、
- 車が動き出す感触を確認しながら、
- パーキングブレーキを解除して発進。

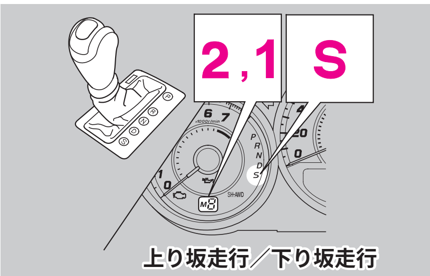
走行

走行中はセレクトレバーをⓃにしないでください。

知　識

- Ⓝにするとエンジンブレーキが全く効かなくなるため思わぬ事故の原因になります。
  またⓃにしても燃費の差はほとんどありません。





通常走行

セレクトレバーをⒹにして走行します。
アクセルペダルの踏み加減と走行速度により、１速から５速まで自動的に変速されます。

・シーケンシャルモード走行

停車中や走行中に、シフトスイッチを引くとシーケンシャルモードがセットされ、マニュアルトランスミッションのような操作ができます。

シーケンシャルモード　→197、198ページ

急加速したいとき
アクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、キックダウンして急加速します。

上り坂走行
坂の勾配に応じ、セレクトレバーをⓈにしておくと、より力強い走行ができます。

下り坂走行
下り坂をⒹのまま走行すると、エンジンブレーキの効きが弱く、速度が出すぎてしまうことがあります。このようなときには、シフトスイッチの一側を引いて、走行速度に合わせて、ギヤを一段ずつ落としてください。

⚠注意

- フットブレーキを使いすぎると、ブレーキが過熱して効きが悪くなるおそれがあります。長い下り坂や急な下り坂では、必ずエンジンブレーキを併用してください。

エンジンブレーキ　→24ページ

停車

①Ⓓのままブレーキペダルをしっかりと踏んでおく。
必要に応じてパーキングブレーキをかける。

アドバイス

- アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂でⓅⓃ以外に入れた状態で、アクセルを調節しながら車を停車させたりしないでください。
トランスミッションが過熱し、故障の原因となります。

知　識

- 急な上り坂での停車はクリープ現象で前へ進もうとする力よりも車が後退しようとする力の方が大きくなり、車が後退することがあります。ブレーキペダルを踏み、パーキングブレーキをかけてください。
- セレクトレバーがⓅⓃ以外でエアコンスイッチが入っている場合などは、エンジン回転数が断続的に高くなりクリープ現象が強まります。ブレーキペダルを特にしっかりと踏み込んでください。

②停車時間が長くなるときはセレクトレバーをⓃに入れる。

⚠注意

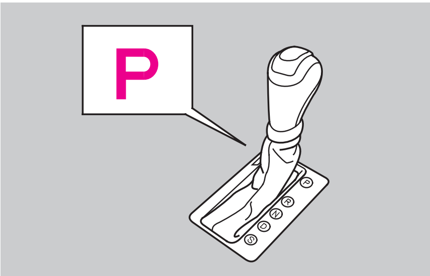
- 停車中、空ぶかしをしないでください。
万一、セレクトレバーがⓅⓃ以外のとき、思わぬ急発進の原因になります。

知　識

- 停車後、再発進するときは、思い違いのないようセレクトレバーがⒹにあることを確認してください。
- セレクトレバーがⓃでもエンジンが冷えているときは、トランスミッションオイルの粘性により車がわずかに動き出すことがありますので、ブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。

駐車

①車を完全に止める。
②ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかける。
③セレクトレバーをⓅに入れる。



知識

● 駐車の際は、セレクトレバーが必ずⓅに入っていることを確認してください。セレクトレバーがⓅのときは、駆動輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。

④エンジンを止める。

⚠注意

● エンジンをかけたままにしておくと、万一、セレクトレバーがⓅⓃ以外に入っていたとき、クリープ現象で車がひとりでに動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み急発進するおそれがあります。

アドバイス

● 車が完全に止まらないうちにⓅに入れないでください。トランスミッション破損の原因となります。

知識

● 環境保護のため駐車時にはエンジンを止めましょう。

ほかに気をつけたいこと

⚠注意

- セレクトレバーは正しい位置で使用してください。
  坂道などで、前進（Ⓓ、Ⓢ）の位置にしたまま惰性で後退したり、後退（Ⓡ）の位置にしたまま前進したりすると、エンジンが停止してブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が重くなり、思わぬ事故の原因となるおそれがあります。

車を少し移動させるとき

このような場合でも、正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。

車を後退させるとき

この場合、体をうしろにひねった姿勢になり、ペダルの操作がしにくくなります。ブレーキペダルは確実に踏めるよう注意してください。

クルーズコントロール

ACC/LKAS非装備車

高速道路または加速、減速の繰り返しの少ない自動車道などを定速で運転するとき、アクセルペダルを踏まなくても車速を一定に保つ装置です。
車速は、Ⓓ、Ⓢまたはシーケンシャルモードでは２速以上のとき約30～100km/hの範囲で希望値に設定できます。
また、アクセルペダルを踏まずに車速を上げ下げしたり、一時的な減速後、もとの車速に自動的に戻すことができます。

※：ACC／LKAS装備車については、別冊のACC／LKAS取扱説明書をご覧ください。

⚠警告

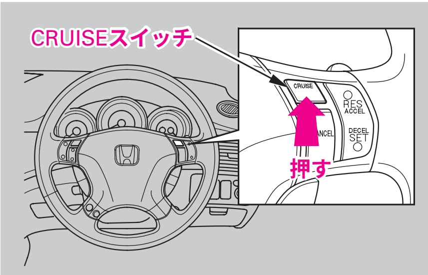
- クルーズコントロールはつぎのような道路では使用しないでください。
  道路状況によっては、思わぬ事故につながります。
  - 混んでいて車間距離が十分とれない道路、急カーブのある道路（道路状況にあった速度で走行できません。）
  - 急な下り坂のある道路（エンジンブレーキが十分効かず、セットした速度を超えてしまうことがあります。）
  - 凍結や積雪などで滑りやすい道路（タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。）

知識

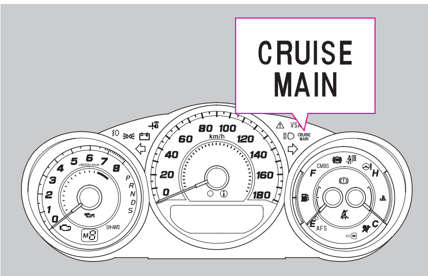
- 上り坂や下り坂では、条件により、一定車速を保てない場合があります。

●希望車速をセットし、定速走行をしたいときの操作

①CRUISE（クルーズ）スイッチを押して、クルーズコントロールを“ ON ”にします。



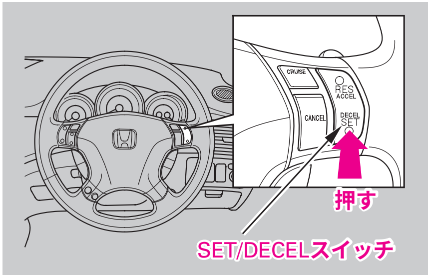
“ ON ”のとき、メーター内のCRUISE MAIN表示灯が点灯します。



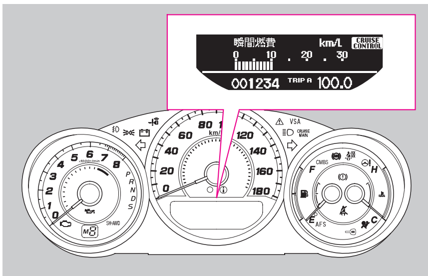
知 識

●エンジンスイッチノブを“ I ”または“ 0 ”にするとCRUISEスイッチは自動的に“ OFF ”になります。

②アクセルペダルを加減して希望の車速になったらSET/DECELスイッチを押して離します。
（スイッチを離したときの車速にセットされます。）



車速がセットされ自動定速走行になると、マルチインフォメーションディスプレイ内に“ CRUISE CONTROL ”が表示されます。（設定車速は表示されません。）



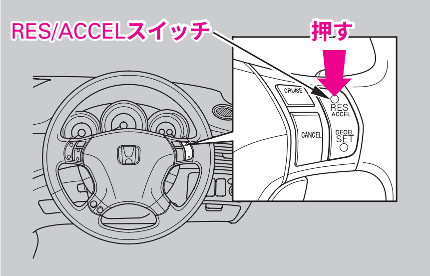
知 識

●自動定速走行をしないときは、安全のためCRUISEスイッチを押して“ OFF ”にしておいてください。

●設定車速を上げたいとき

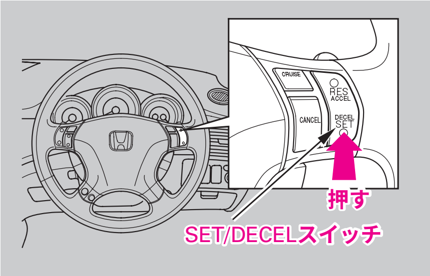
RES/ACCELスイッチで車速を上げる場合

・スイッチを１回ずつ押す
　…１回押すごとに約1.5km/hずつ車速が上がります。
・スイッチを押し続ける
　…押し続けた分だけ車速が上がります。
　（スイッチを離したときの車速にセットされます。）



アクセルペダルで車速を上げる場合

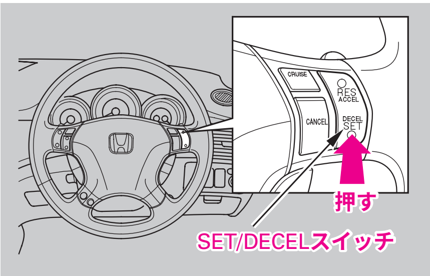
アクセルペダルを踏んで加速し、希望の車速になったときにSET/DECELスイッチを押して離します。
（スイッチを離したときの車速にセットされます。）



●設定車速を下げたいとき

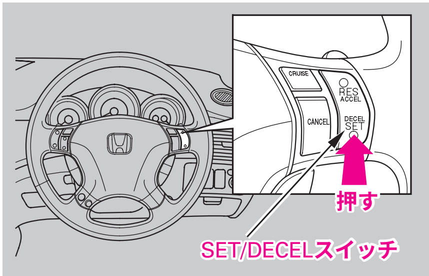
SET/DECELスイッチで車速を下げる場合

・スイッチを１回ずつ押す
　…１回押すごとに約1.5km/hずつ車速が下がります。
・スイッチを押し続ける
　…押し続けた分だけエンジンブレーキで減速をし、車速が下がります。
　（スイッチを離したときの車速にセットされます。）



ブレーキペダルで車速を下げる場合

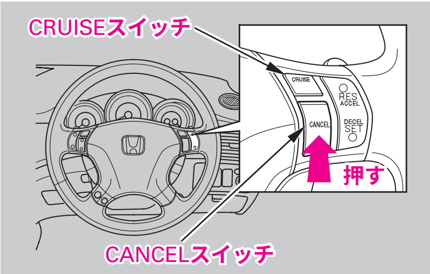
ブレーキペダルを踏んで減速し希望の車速になったときに、ブレーキペダルから足を離し、SET/DECELスイッチを押して離します。
（スイッチを離したときの車速にセットされます。）



●解除するとき

次の操作をすると、自動定速走行が解除されます。

- CANCEL(キャンセル)スイッチを押したとき。
- ブレーキペダルを踏んだとき
- CRUISEスイッチを押したとき。
- セレクトレバーを🄽にしたとき。

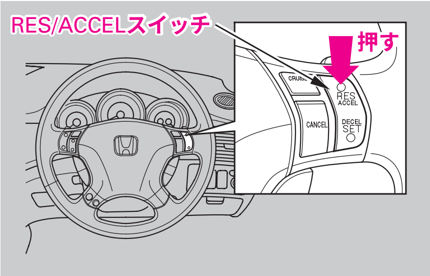


知　識

- 自動定速走行が解除されると、マルチインフォメーションディスプレイの“ CRUISE CONTROL ”の表示が消灯します。
- 車速が約25km/h以下になると、自動定速走行が自動で解除されます。

●解除前の設定車速に戻したいとき

自動定速走行を解除した後、車速が約30 km/h以上になっている場合は、RES/ACCELスイッチを押すと、解除前に設定した車速まで戻り、再び自動定速走行ができます。



知　識

- 次の操作をして自動定速走行を解除したときは、RES/ACCELスイッチを押しても車速の復帰はできません。
  もう一度、車速を設定し直してください。
  - CRUISEスイッチを押したとき。
  - 車速が約25km/h以下になったとき。

SH-AWD
（スーパーハンドリングオールホイールドライブシステム）

SH-AWDのしくみ

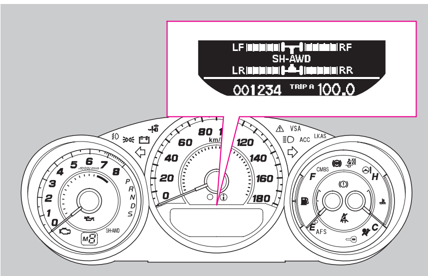
●SH-AWDとは

SH-AWDシステムとは、運転操作や走行状況に応じて四輪の駆動力を自在に制御するシステムです。
カーブを曲がる速度には限界がありますので、カーブの手前では、十分に速度を落としてください。

●作動について

エンジンを始動すると作動します。
四輪の駆動力はマルチインフォメーションディスプレイに表示することができます。

SH-AWD制御トルク表示　→128ページ



知　識

- 制御トルク表示は走行状況によって変化します。減速時や定速走行時には、一部または四輪の表示が消えることがあります。
- ACCまたはLKASが"ON"のときは、制御トルク画面は表示されません。

運転するときは

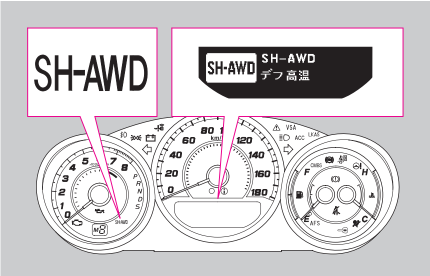
四輪駆動車（SH-AWD装備車）は積雪地、砂地、ぬかるみ、急坂路など滑りやすい路面において二輪駆動車に比べて走破性にすぐれていますが、万能ではありません。アクセル、ハンドル、ブレーキの操作は一般の車と同じく慎重に行い、常に安全運転を心がけてください。

四輪駆動車（SH-AWD装備車）は、オフロードやラリー走行を目的とした車ではありません。必ず、次のことをお守りください。

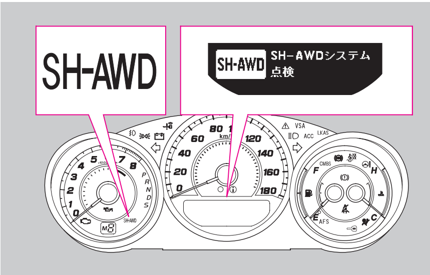
- 砂地、ぬかるみ等、前輪が空転しやすいところでの連続走行はしないでください。
- 渡河などの水中走行はしないでください。
- ブレーキ性能は前輪駆動車と比べてほとんど差がないので、滑りやすい路面での走行には十分車間距離をとってください。

●SH-AWD（スーパーハンドリングオールホイールドライブシステム）警告灯

メーター内に組み込まれており、SH-AWDシステムが動力伝達装置や機能に異常をきたすおそれがあると判断したときは点滅します。
このとき、マルチインフォメーションディスプレイに“ SH-AWDデフ高温 ”が表示されます。



また、SH-AWDシステムが異常のとき点灯します。
このとき、マルチインフォメーションディスプレイに“ SH-AWDシステム点検 ”が表示されます。



エンジンスイッチノブを“ II ”にしたとき点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。

アドバイス

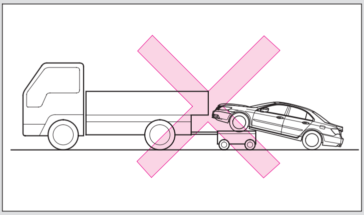
- 警告灯が運転中に点滅したときは、安全な場所に停めて、セレクトレバーをⓅの位置にして、アイドリング運転を行い消灯するまで待ちます。警告灯が点滅したまま運転を続けると動力伝達装置に悪影響をあたえます。
- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
  - 運転中に点灯したとき
  - エンジンスイッチノブを“ II ”にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないとき

  なお、この場合は前輪駆動での走行になります。アクセル、ハンドル、ブレーキの操作は慎重に行ってください。

取り扱いについて

アドバイス

- 四輪とも、同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを混用すると動力伝達装置に悪影響をあたえます。
- けん引される場合、前輪または後輪を台車に載せた(車輪が回転できない)状態でのけん引は、絶対に行わないでください。
  駆動装置が破損したり、車輪が台車からとび出すおそれがあります。
  けん引　→362ページ



- フロントタイヤを連続して空転させないでください。フロントタイヤを連続して空転させると動力伝達装置に悪影響をあたえます。